

学生の確保の見通し等を記載した書類 目次

(1)	学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況.....	2
ア	設置する大学の現状把握・分析	2
イ	地域・社会的動向等の現状把握・分析	2
ウ	新設専攻の趣旨目的, 教育内容, 定員設定等	2
エ	学生確保の見通し	3
A	学生確保の見通しの調査結果.....	3
B	新設学部等の分野の動向.....	5
C	中長期的な 18 歳人口の全国的, 地域的動向等	6
D	競合校の状況	7
E	既設学部等の学生確保の状況.....	7
オ	学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果	8
(2)	人材需要の動向等社会の要請.....	8
①	人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的 (概要)	8
②	上記①が社会的, 地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠	9

学生の確保の見通し等を記載した書類

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

ア 設置する大学の現状把握・分析

本学は、「四日市看護医療」大学という名称が示しているように、当初から、看護学の分野だけではなく、医療科学の分野、とりわけ臨床検査技師の養成にも取り組みたいという意志を持っており、令和2年（2020年）4月看護医療学部に臨床検査学科を新設開校することができた。しかしながら、近年の少子高齢社会の進展、医療の急速な高度化に伴い、最新の知見を常に取り入れながら臨床検査のあり方や人々が求める医療ニーズについて考え、高度な臨床検査の実践者として行動、または教育者として臨床検査技師の養成、あるいは研究者として臨床検査の発展に貢献できる人材育成を求める声が高まりを見せている。その結果、開校4年目を迎える令和6年（2024年）4月、既設の看護学科、大学院看護学研究科と同一キャンパス（三重県四日市市萱生町1200番地）内に臨床検査学専攻を創設する決意に至った（看護学研究科は看護医療学研究科と名称変更し、看護学専攻との2専攻体制とする予定）。

イ 地域・社会的動向等の現状把握・分析

本学が立地する三重県ならびに東海地方には現在、臨床検査学専攻を置く大学院は存在しない。臨床検査技師養成所の科目承認校として学部等を設置し、大学院についても保健学、保健医療学等の専攻内に臨床検査学コース・領域等を置くケースが見られるのみである。そもそも本学の看護医療学部臨床検査学科が科目承認ではなく、指定校として設置した。その理由は単に科目を履修し国家試験合格を目指すことに留まらず、臨床検査技師としての専門性や医療従事者としての倫理観を養うために指定校としての設置が必要と認識したからである。臨床検査学専攻設置についても臨床・教育・研究の観点から臨床検査学としての専門性を追求する大学院が、東海地方にも必要不可欠と確信する。

ウ 新設専攻の趣旨目的、教育内容、定員設定等

臨床検査学専攻は、臨床検査を担うことのできる人材として高度な専門的知識・技術に加え、科学的な論理的思考力・判断力等を身につけ、高度な学術研究を基盤として、研究活動を行う基礎的な能力を身につけた人材を育成することを目的とする。教育課程には「共通科目」「専門科目」「特別研究」の科目区分を設け、専門的知識・理解、汎用的技能、態度・志向性など統合的な学習経験と創造的思考力を育むように編成されている。

なお、本専攻は看護医療学研究科（令和6年度より看護学研究科から名称変更予定）に看護学専攻と併設予定である。看護学研究科看護学専攻は入学定員10名、収容定員20名であるが、2022年5月1日時点の在籍者数は1年・2年あわせて5名で収容定員充足率が25%に留まっている。このことから、臨床検査学専攻設置時に定員は増やさず、以下の通りと定める。

表1：認可申請等に関わる組織の移行表（四日市看護医療大学大学院）

2023年度	入学定員	編入学定員	収容定員	2024年度	入学定員	編入学定員	収容定員
看護学研究科 看護学専攻（M）	10	-	20	看護医療学研究科 看護学専攻（M）	5	-	10
				臨床検査学専攻（M）	5	-	10

学生納付金の設定については、周辺大学大学院の状況に加え、運営上の財務的状況の観点から設定した。東海地方において臨床検査学専攻は本学が初であるが、コース等として臨床検査関連のカリキュラムを含む専攻を置く5大学院（国立大学1、私立大学4）が存在する。このうち私立4大学における初年次納付金（入学金を含む）の平均は932,500円であるのに対し、本学は1,100,000円である【資料1】。本学出身者は入学金免除とするなど減免措置はあるものの、他大学よりやや高めの設定ではあるが、東海地方唯一の臨床検査学専攻として教育研究の質を確保する必要性から妥当であると判断した。

【資料1】東海地方の私立大学大学院保健系研究科（臨床検査関連科目含む）学生納付金の状況

エ 学生確保の見通し

A 学生確保の見通しの調査結果

以下は本学が臨床検査学専攻の学生確保の見通しについて更なる検証を行うために、第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）に依頼し実施した入学意向についてのアンケート調査の結果である。

表2：入学意向についてのアンケート調査 実施概要

調査対象	<p>四日市看護医療大学が2024（令和6）年度に設置構想中の大学院「看護医療学研究科 臨床検査学専攻 修士課程（仮称）」への入学が見込まれる、以下を対象にアンケートを実施または依頼した。</p> <p>① 四日市看護医療大学看護医療学部臨床検査学科3年生（2022年度時点。「看護医療学研究科 臨床検査学専攻 修士課程（仮称）」</p>
------	---

	開設時点で進学時期を迎える学部在学学生) ② 東海地方（一部、滋賀県、和歌山県を含む）の病院、臨床検査企業、健診センター、製薬会社、医療機器メーカー、地方自治体に勤務する臨床検査技師
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 回答者の基本情報（居住地、勤務先・通学先、保有免許・資格、勤務年数、最終学歴） ● 四日市看護医療大学大学院「看護医療学研究科 臨床検査学専攻 修士課程（仮称）」への受験・入学意向 等 全 10 問で選択肢式 9 問、記述式 1 問。
調査時期	2022（令和 4）年 12 月～2023（令和 5）年 1 月
調査方法	「調査対象」で示した①②に以下の方法で実施した。 ① 教員より授業後に配布。その場で回答を促し、回収した。 ② リストアップした対象先に、アンケート用紙・「看護医療学研究科 臨床検査学専攻 修士課程（仮称）」概要・返信用封筒ならびに Web 方式回答サイト QR コードを送付。ご協力いただける場合、紙方式は返送用封筒での返送、Web 方式は指定サイトにアクセスの上で回答・送信いただく形とした（紙方式・Web 方式いずれかのみでの回答とした）。
回答件数	有効回答数 87 件

以上のごとく実施したアンケート調査において、回答者の居住地として最も多かったのは「三重県」38 人（全体の 43.7%。以下同様）で、次いで「愛知県」30 人（34.5%）、「岐阜県」7 人（8.0%）、「静岡県」5 人（5.7%）であった。全体の 9 割以上が東海四県在住であった。回答者の所属先として最も多かったのは「病院」50 人（57.5%）、次いで四日市看護医療大学看護医療学部臨床検査学科 3 年生である「大学（学部生）」21 人（24.1%）や「健診センター」8 人（9.2%）などであった。回答者の保有免許・資格については「臨床検査技師」を挙げたのが 84 人（96.6%）で最も多く、次いで「細胞検査士」14 人（16.1%）であった。この他、超音波検査士、臨床工学技士、緊急検査士、認定血液検査技師、認定病理検査技師、医療安全管理者、感染制御認定微生物検査技師、二級臨床検査技師（病理）、第一種衛生管理者、登録販売者などが挙げた（複数回答の結果）。臨床検査技師としての勤務年数は「20 年以上」26 人（29.9%）が最も多く、他に「15～19 年」「5～9 年」各 10 人（11.5%）、「10～14 年」8 人（9.2%）などであった。最終学歴（見込み含む）については「大学卒」61 人（70.1%）が最も多く、次いで「専門学校卒」13 人（14.9%）、「短期大学卒」12 人（13.8%）であった。

以上のような回答者に、臨床検査学専攻の概要を提示した上で、受験・入学意向について回答を求めた。結果、「受験したい」としたのは 13 人（14.9%）であった。その上で、「臨

床検査学専攻 修士課程（仮称）」が予定する入学定員 5 名を上回る 9 人が「入学したい」とし、別途 3 人が「状況によって入学を検討したい」とした。

なお、臨床検査学専攻を「受験したい」とした 13 人の属性は、以下の表 3 の通りである。

表 3：臨床検査学専攻に受験意向を示した回答者の属性

	入学意向	居住地	所属先（勤務先・通学先）	保有免許・資格（見込み含む）	臨床検査技師としての経験年数	最終学歴（見込み含む）
1	入学したい	三重県	病院	臨床検査技師 細胞検査士	5～9年	大学卒
2	入学したい	三重県	病院	臨床検査技師	5～9年	大学卒
3	入学したい	三重県	病院	臨床検査技師	5～9年	大学卒
4	入学したい	三重県	健診センター	臨床検査技師 細胞検査士	10～14年	大学卒
5	入学したい	三重県	臨床検査センター	臨床検査技師	5～9年	大学卒
6	入学したい	愛知県	病院	臨床検査技師	2～4年	大学卒
7	入学したい	愛知県	臨床検査センター	臨床検査技師	10～14年	大学卒
8	入学したい	愛知県	大学（学部生）	臨床検査技師	無回答（学生のため）	大学卒
9	入学したい	岐阜県	医療機器メーカー	臨床検査技師	15～19年	大学卒
10	状況によって入学を検討したい	三重県	病院	臨床検査技師	10～14年	大学卒
11	状況によって入学を検討したい	三重県	健診センター	臨床検査技師	10～14年	専門学校卒
12	状況によって入学を検討したい	三重県	大学（学部生）	臨床検査技師 細胞検査士	無回答（学生のため）	大学卒
13	状況によって入学を検討したい	愛知県	大学（学部生）	臨床検査技師 細胞検査士	無回答（学生のため）	大学卒

「入学したい」とした 9 人は全員が大学卒業（見込み 1 人含む）で、臨床検査技師（取得予定 1 人含む）である。居住地は 5 人が三重県、3 人が愛知県、1 人が岐阜県である。「状況によって入学を検討したい」とした 4 人は 3 人が大学卒業（見込み 2 人含む）、1 人が専門学校卒業、また全員が臨床検査技師（見込み 2 人含む）である。居住地は 3 人が三重県、1 人が愛知県である。以上の通り、臨床検査学専攻に対しては本専攻の基礎となる臨床検査学科のみならず、臨床現場で勤務する臨床検査技師からも入学意向が示されており、新卒・現職を含む幅広い方面から学生確保が期待できることが明らかとなった【資料 2】。

【資料 2】四日市看護医療大学大学院「看護医療学研究科 臨床検査学専攻 修士課程（仮称）」設置に係る学生確保の見通し調査（入学意向についてのアンケート調査）報告書

B 新設学部等の分野の動向

日本私立学校振興・共済事業団「私立大学・短期大学等入学志願動向」によると、私立大学大学院修士課程及び博士前期課程、専門職大学院課程は、2020 年度は合計 1,216 研究科が存在するのに対し入学定員充足率 74.16%、2021 年度は 1,226 研究科で 76.11%、2022 年

度は1,240研究科で78.87%となっている。これに対して臨床検査学専攻が含まれる「保健系」については、2020年度は合計135研究科存在するのに対し入学定員充足率79.53%、2021年度は144研究科で82.66%、2022年度は150研究科で82.38%となっている。

大学院は全体的に定員割れの状況が続くものの、保健系は全体と比較すると3.5～6.5ポイント程度高く、この分野で大学院進学を検討する層が比較的多く存在することがうかがえる【資料3】。

【資料3】私立大学大学院修士課程等 全体および保健系 入学定員・志願者数・入学者数・充足状況

C 中長期的な18歳人口の全国的、地域的動向等

臨床検査学専攻は基礎となる学部である臨床検査学科からの進学者受入れも行う予定のため、間接的に18歳人口減少の影響を受けることになる。文部科学省「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」に基づく18歳人口予測によると、臨床検査学科が学生確保の基盤とする三重県をはじめとする東海地方では、2040年には表4程度の減少が見込まれている(2017年基準による)【資料4】。

表4：東海地方における2040年度の大学進学者数推計

年度	内容	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県
2017年度	18歳人口	20,795	35,989	74,550	18,382
	大学進学者数	9,725	17,323	38,905	8,299
	大学進学率	46.8%	48.1%	52.2%	45.1%
2040年度推計	18歳人口推計	13,839	24,828	57,157	12,497
	大学進学者数	6,949	12,762	31,099	5,804
	県内大学への入学者数	3,516	6,168	33,550	2,442
	入学定員充足率	73.0%	77.1%	82.1%	78.5%

このように18歳人口は現状から2割程度の減少が予想されていたが、新型コロナウイルス感染症等の影響を受けた出生数の急激な減少から、これを上回る速さで少子化が進展することも懸念される。

一方、「A 学生確保の見通しの調査結果」でも触れたが、臨床検査学専攻に対しては大学新卒者のみならず、現職の臨床検査技師も対象となる。一般社団法人日本臨床衛生検査技師会組織調査によると、全国の臨床検査技師数は平成27年度57,797人、平成28年度59,805人、平成29年度61,860人、平成30年度64,273人、令和元年度66,679人、令和2年度67,162人と増加傾向にある。東海地方(岐阜県、静岡県、愛知県、三重県)合計でも、平成28年度6,185人、平成29年度6,322人、平成30年度6,478人、令和元年度6,834人、令

和2年度6,978人と増加していることから【資料5】、学部新卒者に留まらず社会人を含めた幅広い層にアピールすることで、継続的かつ安定的な学生確保を目指していく。

【資料4】18歳人口予測（文部科学省「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」より抜粋）

【資料5】一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会組織調査（都道府県別臨床検査技師数）

D 競合校の状況

東海地方には国公私立を含め臨床検査学専攻を置く大学院はないものの、コース等として臨床検査関連のカリキュラムを含む専攻を置く5大学院（国立大学1、私立大学4）が存在する。大学院によりその定員規模やコース数が異なり、また臨床検査学以外の要素も含まれるため単純比較はできないものの、その入学定員充足率は2020年度87.1%、2021年度93.6%、91.2%と比較的良好な状況である【資料6】。

【資料6】東海地方の大学院保健系研究科（臨床検査関連科目含む）入学定員および入学者数

E 既設学部等の学生確保の状況

本学の設置母体である学校法人暁学園が運営する大学・大学院の学生確保の状況は、以下の表5で示す通りである。

表5 四日市看護医療大学・四日市大学 学生確保の状況

四日市看護医療大学		学科名	収容定員	在学者数	収容定員充足率
看護医療学部	看護学科	400名	460人	1.15	
	臨床検査学科	150名※1	124人	0.82	
学部合計			550名	584人	1.06
看護学研究科※2	看護学専攻(M)	20名	5人	0.25	
大学院合計			20名	5人	0.25
四日市大学		学科名	収容定員	在学者数	収容定員充足率
総合政策学部	総合政策学科	520名	513人	0.98	
環境情報学部	環境情報学科	280名	242人	0.82	
学部合計			800名	755人	0.94

※1：2020年度開設のため、2022年度現在は3年生まで在籍。

※2：臨床検査学専攻設置に伴い、2024年度に看護医療学研究科に名称変更予定。

2022 年度現在の収容定員充足率は、四日市看護医療大学看護医療学部では 1.06、四日市大学では 0.94 と概ね良好な状況である。一方、臨床検査学専攻を設置予定の四日市看護医療大学大学院看護学研究科（2024 年度設置時に看護医療学研究科に名称変更予定）は収容定員 20 名に対し 5 人が在学しており、充足率は 0.25 である。このような状況を踏まえ、臨床検査学専攻設置時に定員増は行わず、看護学専攻・臨床検査学専攻で入学定員を各 5 名ずつと設定する。

オ 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

学内においては臨床検査学科在学生に対し、臨床検査学専攻についての説明会を開催する。大学院進学を経て臨床・教育・研究の場において、どのようなキャリアパスが見込まれるか丁寧に説明を行い、希望に応じて個別相談会の機会を設ける。

学外に関しては、パンフレットやリーフレット作成・配布、Web サイトや公式 SNS アカウント（Twitter、Instagram）を活用した広報活動、オープンキャンパス時に説明会や個別相談会の機会を設ける。後述の人材需要アンケート調査では、臨床検査技師が活躍する東海地方の病院、臨床検査企業、健診センター、製薬会社、医療機器メーカー、地方自治体など合計 407 箇所へ依頼を行っている。今後はこの 407 箇所を含め、さらに幅広く臨床検査学専攻の情報発信を継続的に行う予定である。入学検討段階の疑問点については Web サイトや SNS を活用して、気軽に相談できる場を設けるなどしていく。

(2) 人材需要の動向等社会の要請

① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

臨床検査学専攻（修士課程）では、社会的に必要性が高まっている臨床検査学の専門知識を有し、臨床検査学教育にも貢献でき、広い視野と柔軟な思考力・想像力を持ち、臨床検査学の新たな開拓と進展に貢献できる臨床検査学教育・研究能力を有する人材を養成する。さらに、進行する少子・高齢社会に対応して、保健・医療・福祉システムを創造的に構築できる企画・調整・統括的能力を有し、リーダーシップを発揮でき、対象者のみならず家族や地域の健康促進に貢献でき、人々の生活改善に直結する質の高い医療を提供するために、高度な倫理観をもち、高度な専門知識・技術を有する臨床検査実践者となる人材を目指す。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

本大学院修士課程を修了するまでに、修士（臨床検査学専攻）の学生が身につけるべき能力をディプロマ・ポリシーとして次の通り策定した。

1. 臨床検査学の高度な知識と研究手法を体得し、臨床検査の質向上に向けた研究を遂行することができる。

2. 専門職業人として医療に対する幅広い知識と技能を駆使し、高度な臨床検査を実践できる。
3. 健康に対する社会的ニーズを認識するとともに、グローバルな視野を持ち、科学的根拠に基づき、自ら考え、判断し、課題解決に向けて対応することができる。
4. 臨床検査技師の役割を探究し、臨床検査学分野の高度な実践者、教育者及び研究者として社会に対して責任を果たし、貢献できる。
5. 自ら積極的に臨床検査学の課題を探究し、主体的に解決しようとする能力と研究的視点を備え、科学的探究心を持ちながら継続的に研究を遂行できる。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

上記1から5までのディプロマ・ポリシーを遂行するにあたり、教育課程編成・実施の方針を以下のように策定した。

本専攻では、臨床検査学分野の高度な実践者、教育者及び研究者を育成することを目標としている。そのため、カリキュラムは臨床検査学のみならず広く医療に関する科目から構成する「共通科目」、各専門分野において深い専門性を学ぶ「専門科目」及び研究指導科目である「特別研究」からなり、次のように教育課程を編成している。

1. 「共通科目」は広く医療・臨床検査に関する能力を身につけた上で、目的に応じた教育・研究者として不可欠な科学的思考の基盤を身につけることができるようカリキュラムを編成する。
2. 「専門科目」として、病態の検査解析について感染防御を含め、起因となる微生物、生体物質から探求する「病因解析学分野」と病態の検査解析について生体機能、病理学的視点から探求する「病態機能検査学分野」の二分野から構成し、両方の分野から科目を履修し、目的に応じた専門性を身につけることができるようカリキュラムを編成する。
3. 「研究指導科目」として「特別研究Ⅰ」では研究課題に関する情報収集、論文検索を行い、「特別研究Ⅱ」では研究課題に対する基礎的研究を進め表現力も合わせて身につける。「特別研究Ⅲ」では修得した知識・技術を駆使し研究を遂行し論文作成研究発表を行う。中間発表会も実施し、評価結果に応じ指導方法の改善を図る。研究への初歩的アプローチから修士論文の完成まで、研究プロセスを段階的に学んでいくことができるよう、専攻全体で指導体制をとるものとする。
4. 成績評価は客観性及び厳格性を担保するため、各科目のシラバスに明記された評価基準に基づき厳格に行い、成績評価の方法と基準を用いて多面的・総合的に評価する。

② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

以下は本学が臨床検査学専攻の人材需要の見通しについて更なる検証を行うために、第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）に依頼し実施した採用意向についてのアンケート

調査の結果である。

表6：採用意向についてのアンケート調査 実施概要

調査対象	四日市看護医療大学が2024（令和6）年度に設置構想中の大学院「看護医療学研究科 臨床検査学専攻 修士課程（仮称）」の養成する人材について採用が見込まれる主に東海地方（一部、滋賀県、和歌山県を含む）の病院、臨床検査企業、健診センター、製薬会社、医療機器メーカー、地方自治体など、合計407箇所を対象にアンケートを依頼した。
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 回答元の基本情報（所在地、種類、修士課程修了の臨床検査技師の勤務状況） ● 四日市看護医療大学大学院「看護医療学研究科 臨床検査学専攻 修士課程（仮称）」が養成する人材のニーズ、採用意向、勤務する人材への進学推奨について。 全8問で主に選択肢式7問、記述式1問。
調査時期	2022（令和4）年12月～2023（令和5）年1月
調査方法	リストアップした対象先に、アンケート用紙・「看護医療学研究科 臨床検査学専攻 修士課程（仮称）」概要・返信用封筒ならびにWeb方式回答サイトQRコードを送付。ご協力いただける場合、紙方式は返信用封筒での返送、Web方式は指定サイトにアクセスの上で回答・送信いただく形とした（紙方式・Web方式いずれかのみでの回答とした）。
回答件数	有効回答数65箇所（返送率16.0%）

回答元の所在地として最も多かったのは「三重県」21箇所（全体の32.3%。以下同様）で、以下「愛知県」19箇所（29.2%）、「静岡県」11箇所（16.9%）、「滋賀県」9箇所（13.8%）、「岐阜県」3箇所（4.6%）、「その他」2箇所（3.1%）であった。（「その他」2箇所は東京都、大阪府。送付先は東海地方の支社であったが本社から回答があったと思われる）。回答元種類としては「病院」43箇所（66.2%）が最も多く、以下「健診センター」「地方自治体」各6箇所（9.2%）、「製薬会社」5箇所（7.7%）、「臨床検査センター」「医療機器メーカー」各2箇所（3.1%）であった。大学院修士課程（博士前期課程）修了の臨床検査技師勤務状況については「勤務している」としたのが18箇所（27.7%）であった。その上で示された勤務人数は、「1人」6箇所が最も多く、「2人」2箇所、「4人」「5人」各1箇所、さらに「12人」「20人」も各1箇所あった。

臨床検査学専攻の社会的ニーズについては「社会的ニーズは高い」4箇所（6.2%）、「社会的ニーズはある程度高い」43箇所（66.2%）で、合計すると7割超の47箇所（72.3%）が本専攻の社会的ニーズは高いとの認識を示した。また、採用意向については「採用したい」

11 箇所（16.9%）で、その上で提示された採用可能人数は、修了見込人数（入学定員）5 名を大きく上回る合計 15 人であった【資料 7】。

以上の通り、本臨床検査学専攻に対しては、臨床検査技師が勤務する医療・保健機関や企業などのうち 7 割がその必要性を認め、また高い人材需要が示される結果となった。

【資料 7】四日市看護医療大学大学院「看護医療学研究科 臨床検査学専攻 修士課程（仮称）」設置に係る人材需要の見通し調査（採用意向についてのアンケート調査）報告書

以上

学生の確保の見通し等を記載した書類 資料一覧

- 【資料1】 東海地方の私立大学大学院保健系研究科（臨床検査関連科目含む）学生納付金の状況
- 【資料2】 四日市看護医療大学大学院「看護医療学研究科 臨床検査学専攻 修士課程（仮称）」設置に係る学生確保の見通し調査（入学意向についてのアンケート調査）報告書
- 【資料3】 私立大学大学院修士課程等 全体および保健系 入学定員・志願者数・入学者数・充足状況
- 【資料4】 18歳人口予測（文部科学省「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」より抜粋）
- 【資料5】 一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会組織調査（都道府県別臨床検査技師数）
- 【資料6】 東海地方の大学院保健系研究科（臨床検査関連科目含む）入学定員および入学者数
- 【資料7】 四日市看護医療大学大学院「看護医療学研究科 臨床検査学専攻 修士課程（仮称）」設置に係る人材需要の見通し調査（採用意向についてのアンケート調査）報告書

【資料1】東海地方の私立大学大学院保健系研究科（臨床検査関連科目含む）

学生納付金の状況

大学院名	研究科名	専攻名	入学金	授業料等	初年次合計
藤田医科大学大学院	保健学研究科	保健学専攻	150,000	750,000	900,000
中部大学大学院	生命健康科学研究科	生命医科学専攻	100,000	850,000	950,000
岐阜医療科学大学大学院	保健医療学研究科	保健医療学専攻	200,000	800,000	1,000,000
鈴鹿医療科学大学大学院	医療科学研究科	医療科学専攻	200,000	680,000	880,000
4大学平均			162,500	770,000	932,500

四日市看護医療大学大学院	看護医療学研究科	臨床検査学専攻	200,000	900,000	1,100,000
--------------	----------	---------	---------	---------	-----------

【資料2】

四日市看護医療大学大学院
「看護医療学研究科 臨床検査学専攻 修士課程（仮称）」
設置に係る学生確保の見通し調査
（入学意向についてのアンケート調査）
報告書

2023（令和5）年2月

株式会社高等教育総合研究所

四日市看護医療大学大学院
「看護医療学研究科 臨床検査学専攻 修士課程(仮称)」
設置に係る学生確保の見通し調査
(入学意向についてのアンケート調査)

報告書 目次

1. 入学意向についてのアンケート調査 実施概要	3
2. 入学意向についてのアンケート調査 集計結果	4
3. 入学意向についてのアンケート調査 集計結果ポイント	10
(添付資料)	14
入学意向についてのアンケート調査用紙(紙方式)	15
「看護医療学研究科 臨床検査学専攻 修士課程(仮称)」概要(紙方式)	17
入学意向についてのアンケート調査回答画面(Web方式)	18

1. 入学意向についてのアンケート調査 実施概要

調査対象	<p>四日市看護医療大学が2024(令和6)年度に設置構想中の大学院「看護医療学研究科 臨床検査学専攻 修士課程(仮称)」への入学が見込まれる、以下を対象にアンケートを実施または依頼した。</p> <p>① 四日市看護医療大学看護医療学部臨床検査学科3年生(2022年度時点。「看護医療学研究科 臨床検査学専攻 修士課程(仮称)」開設時点で進学時期を迎える学部在学学生)</p> <p>② 東海地方(一部、滋賀県、和歌山県を含む)の病院、臨床検査企業、健診センター、製薬会社、医療機器メーカー、地方自治体に勤務する臨床検査技師</p>
調査内容	<p>● 回答者の基本情報(居住地、勤務先・通学先、保有免許・資格、勤務年数、最終学歴)</p> <p>● 四日市看護医療大学大学院「看護医療学研究科 臨床検査学専攻 修士課程(仮称)」への受験・入学意向 等</p> <p>全10問で選択肢式9問、記述式1問。</p>
調査時期	2022(令和4)年12月～2023(令和5)年1月
調査方法	<p>「調査対象」で示した①②に以下の方法で実施した。</p> <p>① 教員より授業後に配布。その場で回答を促し、回収した。</p> <p>② リストアップした対象先に、アンケート用紙・「看護医療学研究科 臨床検査学専攻 修士課程(仮称)」概要・返信用封筒ならびにWeb方式回答サイトQRコードを送付。ご協力いただける場合、紙方式は返信用封筒での返送、Web方式は指定サイトにアクセスの上で回答・送信いただく形とした(紙方式・Web方式いずれかのみでの回答とした)。</p>
回答件数	有効回答数87件

2. 入学意向についてのアンケート調査 集計結果

※「構成比」 (%) はいずれも、小数点第二位を四捨五入。

問1 あなたが現在、お住まいの府県をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

選択肢		回答数	構成比 (%)
1	三重県	38	43.7%
2	愛知県	30	34.5%
3	岐阜県	7	8.0%
4	静岡県	5	5.7%
5	滋賀県	5	5.7%
6	和歌山県	2	2.3%
7	その他	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
合計		87	100.0%

問2 あなたの現在の所属先(勤務先・通学先)についてお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

選択肢		回答数	構成比 (%)
1	病院	50	57.5%
2	健診センター	8	9.2%
3	臨床検査センター	3	3.4%
4	地方自治体	3	3.4%
5	医療機器メーカー	1	1.1%
6	製薬会社	0	0.0%
7	大学(学部生)	21	24.1%
8	その他	1	1.1%
	無回答	0	0.0%
合計		87	100.0%

問3 あなたが保有している免許・資格をお答えください。現在学生の方は取得予定のものをお答えください。(あてはまるもの全てにマーク)

選択肢		回答数	回答率 (%)
1	臨床検査技師	84	96.6%
2	細胞検査士	14	16.1%
3	その他	12	13.8%
「その他」記載内容：超音波検査士(2)、臨床工学技士(2)、緊急検査士(2)、認定血液検査技師、認定病理検査技師、医療安全管理者、感染制御認定微生物検査技師、二級臨床検査技師(病理)、第一種衛生管理者、登録販売者 ※()内は回答件数。			

※複数回答の結果。各回答率=各回答数÷回答対象者。

問4 現在、臨床検査技師としてお勤めの方におたずねします。あなたの臨床検査技師としての累計勤務年数をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

選択肢		回答数	構成比 (%)
1	経験なし	11	12.6%
2	2年未満	4	4.6%
3	2～4年	5	5.7%
4	5～9年	10	11.5%
5	10～14年	8	9.2%
6	15～19年	10	11.5%
7	20年以上	26	29.9%
	無回答	13	14.9%
合計		87	100.0%

問5 あなたの最終学歴をお答えください。現在学生の方は卒業予定のものをお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

選択肢		回答数	構成比 (%)
1	専門学校卒	13	14.9%
2	短期大学卒	12	13.8%
3	大学卒	61	70.1%
4	大学院以上	0	0.0%
	無回答	1	1.1%
合計		87	100.0%

問6 以降は別紙・四日市看護医療大学大学院「看護医療学研究科 臨床検査学専攻 修士課程(仮称)」概要を確認の上、回答を求めた。

問6 あなたは四日市看護医療大学大学院「看護医療学研究科 修士課程 臨床検査学専攻(仮称)」を受験したいと思いますか。（あてはまるもの1つにマーク）

選択肢		回答数	構成比 (%)
1	受験したい	13	14.9%
2	受験しない	74	85.1%
	無回答	0	0.0%
合計		87	100.0%

問7・問8は、問6で「受験したい」とした場合、回答を求めた。

問7 あなたは四日市看護医療大学大学院「看護医療学研究科 修士課程 臨床検査学専攻(仮称)」を受験し合格した場合、入学したいと思いますか。(あてはまるもの1つにマーク)

選択肢		回答数	構成比 (%)
1	入学したい	9	10.3%
2	状況によって入学を検討したい	4	4.6%
	無回答	0	0.0%
合計		13	14.9%

問8 あなたが四日市看護医療大学大学院「看護医療学研究科 修士課程 臨床検査学専攻(仮称)」に「入学したい」または「状況によって入学を検討したい」とされた理由をお答えください。(あてはまるもの全てにマーク)

選択肢		回答数	回答率 (%)
1	臨床の現場で活かせる高度な専門知識の修得と研究力を高めたいので	4	30.8%
2	修士の学位を取得し、キャリアアップを図りたいので	9	69.2%
3	将来、臨床の現場の指導者、指導的役割を担いたいので	5	38.5%
4	将来、教育者、研究者になりたいので	6	46.2%
5	その他	0	0.0%

※複数回答の結果。各回答率=各回答数÷回答対象者。

問9・問10は、問6で「受験しない」とした場合、回答を求めた。

問9 あなたが四日市看護医療大学大学院「看護医療学研究科 修士課程 臨床検査学専攻(仮称)」に「入学したい」または「状況によって入学を検討したい」とされた理由をお答えください。(あてはまるもの全てにマーク)

選択肢		回答数	回答率 (%)
1	大学院に進学する必要性を感じないため	37	50.0%
2	四日市看護医療大学大学院「看護医療学研究科 修士課程 臨床検査学専攻(仮称)」に魅力を感じないため	7	9.5%
3	経済的、金銭的理由	21	28.4%
4	仕事が忙しいため	27	36.5%
5	子育て中のため	9	12.2%
6	家庭の事情	6	8.1%
7	その他	1	1.4%

※複数回答の結果。各回答率=各回答数÷回答対象者。

問10 どのような条件が整えば大学院への進学を検討されるかご記入ください。

※54人が回答を記載。

回答内容	
1	専門知識を修得できることは魅力的だが、自宅から通学しにくい立地なので、可能であれば愛知県内の大学院に入学したいです。
2	現在の勤務地が地方であり、家族持ちのスタッフも多い。そのため向学心があっても、大学院へ通える環境が整っていないので、通信等で学ぶことができればもっと進学率は上がるのではないかと思います。
3	金銭面の関係で、仕事と併用で進学（大学院で研究）もできる余裕があると魅力的である。難しいとは思いますが、看護も学べるのはとても興味ある。
4	時間に余裕があり、金銭面でもゆとりがあり、今後働くときにメリットとなるような資格が取れるなど
5	なかなか仕事との両立は難しいと考えます。
6	仕事や外部の技師会活動と両立できるようならぜひ入学を検討したい。
7	金銭に余裕があれば
8	経済的な問題
9	金銭的な余裕 年齢
10	仮に大学の先生になりたいと思ったら行きます。
11	金銭的理由
12	金銭的な問題
13	上記が解決したら
14	お金が安く、時間に余裕がある場合
15	経済的に余裕ができたなら
16	病院附属や先輩がいたら魅力を感じたかもしれなかったです。
17	研究設備の充実
18	立地
19	もう少し安くしてほしい（学費）
20	研究環境、立地の良さ
21	・リモート中心 ・その後の活用 など
22	オンラインで完結する
23	距離的に通うのも大変であるためリモートなどである程度済むようにしていただけるとより前向きに検討できるかなと思います。
24	大学院に進学するメリットがある社会になる
25	高いレベルの技術を習得できれば良いと思う

回答内容	
26	自らのモチベーションが向上し、修業後の進路がより具体的でより魅力的であれば、進学を検討するかもしれません。
27	時間と金銭面
28	臨床検査技師会の勉強会や学会等参加しており、そこで知識を得ている。大学院へ行く必要性を感じない。学費が無料なら考えるかも。
29	仕事と両立できれば良い
30	奨学金制度があれば。
31	必要ないため考えてない
32	研究を目指している方には向いているかと考えます。病院で、実際に働いていくなら資格や認定を取得出来る制度があると良いと思います。
33	通学の必要がないこと。自分の受けられるタイミングで授業を受けることができること。通いやすい立地。金銭面の補助。
34	金銭の負担がなく、かつ収入が減らない。今後の仕事の活用ができる。
35	入学金、授業料等の減額 卒後の給料増加
36	給与にインセンティブとして反映される環境であれば...
37	経済的に余裕があれば。
38	通学距離
39	リモート授業の充実
40	単位取得に時間的余裕があること。
41	今は臨床の現場での経験を積みたいので大学院への進学は視野にありませんが、いつか研究職に就きたいと思った時、自分の興味のある分野の研究ができるなら検討すると思います。
42	特になし。
43	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のやりたいことで、将来性のあること。 ・毎日7時間は睡眠時間がとれること。 ・宿題など、業務時間外の業務が無いこと。
44	経済的負担の軽減
45	現在の就職先で今の収入が100%得られ、休職扱いとならない等、勤続状況に影響がないと確約があれば。
46	大学院を出たあとに活かせる場所があればと思うが現時点ではメリットがない。
47	大学院に進むことで得られるメリットが魅力的である
48	短期間のスクーリングでも、退職後も役立つような資格が取れる場合。たとえば、食品衛生管理者や毒劇物取扱者など。
49	考えたことない。
50	現在の業務内容とリンクする分野があれば検討できる。
51	子育て中ということもあり、自分の時間が持てない状況です。自分の時間が持つことができ、経済的余裕ができれば検討できるかと思います。

回答内容	
52	夜間
53	仕事をしているのでなかなか厳しいが、時間と経済的に余裕があって学びたい分野があれば検討したい
54	修士課程 臨床検査学専攻を設置している大学はこれまでもあり、修士課程取得が目的であれば、国立大学を選択します。四日市看護医療大学のレベルアップに伴い、検討はします。

3. 入学意向についてのアンケート調査 集計結果ポイント

①回答者の基本情報1

Point 1 東海地方在住の臨床検査技師(または取得予定者)を中心とした87人が大学院「看護医療学研究科 臨床検査学専攻 修士課程(仮称)」入学意向についてのアンケート調査に回答。

四日市看護医療大学が2024(令和6)年度に設置構想中の大学院「看護医療学研究科 臨床検査学専攻 修士課程(仮称)」の学生確保の見通しを検証するため、入学意向アンケート調査を実施し、87人から回答を得た。

回答者の居住地として最も多かったのは「三重県」38人(43.7%)で、次いで「愛知県」30人(34.5%)、「岐阜県」7人(8.0%)、「静岡県」5人(5.7%)であった。全体の9割以上が東海四県在住であった(グラフ1)。

回答者の所属先として最も多かったのは「病院」50人(57.5%)、次いで四日市看護医療大学看護医療学部臨床検査学科3年生である「大学(学部生)」21人(24.1%)や「健診センター」8人(9.2%)などであった(グラフ2)。

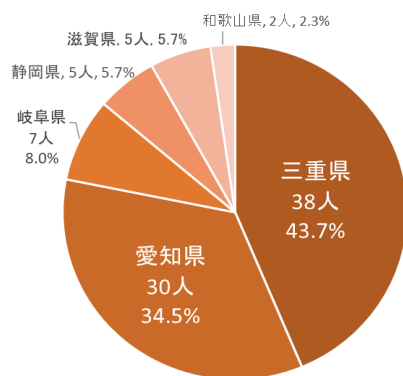
回答者の保有免許・資格については「臨床検査医技師」を挙げたのが84人(96.6%)で最も多く、次いで「細胞検査士」14人(16.1%)であった。この他、超音波検査士、臨床工学技士、緊急検査士、認定血液検査技師、認定病理検査技師、医療安全管理者、感染制御認定微生物検査技師、二級臨床検査技師(病理)、第一種衛生管理者、登録販売者などが挙げられた(複数回答の結果/グラフ3および問3集計結果)。

臨床検査技師としての勤務年数は「20年以上」26人(29.9%)が最も多く、他に「15～19年」「5～9年」各10人(11.5%)、「10～14年」8人(9.2%)などであった。四日市看護医療大学看護医療学部臨床検査学科在学学生は「経験なし」または無回答に含まれている(グラフ4)。

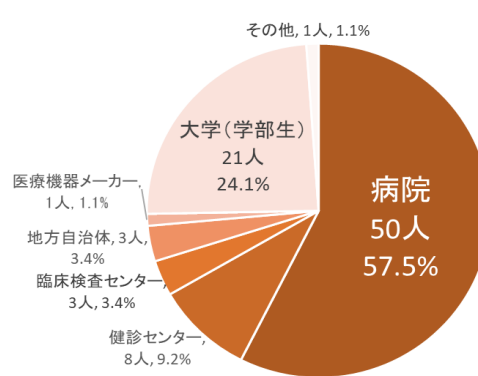
最終学歴(見込み含む)については「大学卒」61人(70.1%)が最も多く、次いで「専門学校卒」13人(14.9%)、「短期大学卒」12人(13.8%)であった(次頁グラフ5)。

以上の通り、東海地方在住の臨床検査技師または取得予定者を中心とした87人からアンケート回答を得た。

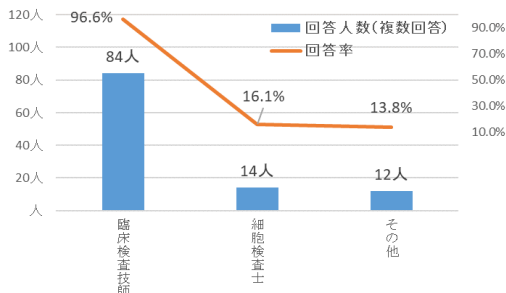
グラフ1: 回答者の居住地(問1結果より)



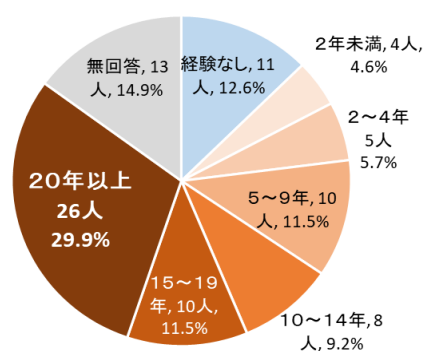
グラフ2: 回答者の所属先(問2結果より)



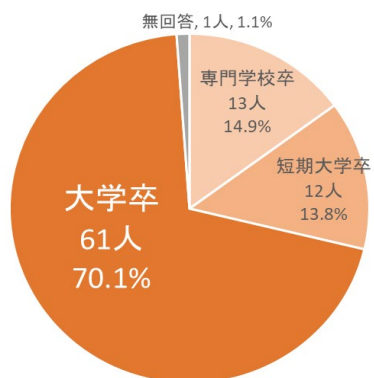
グラフ3: 回答者が保有している免許・資格 ※学生の場合、取得予定(問3結果)



グラフ4: 臨床検査技師としての勤務年数(問4結果より)



グラフ5: 回答者の最終学歴(問5結果より)



②四日市看護医療大学「看護医療学研究科 臨床検査学専攻 修士課程(仮称) 受験・入学意向について

Point 2

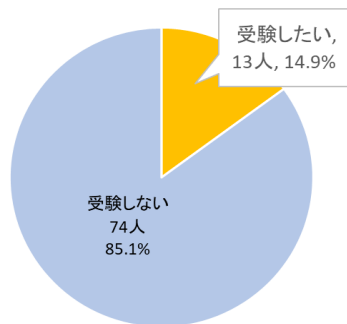
四日市看護医療大学大学院「看護医療学研究科 臨床検査学専攻 修士課程(仮称)」に対し入学定員5名の2.6倍となる13人が受験意向を示し、その上で1.8倍となる9人が強く入学を希望。

四日市看護医療大学大学院「看護医療学研究科 臨床検査学専攻 修士課程(仮称)」の概要を提示した上で、受験・入学意向について回答を求めた。結果、「受験したい」としたのは13人(14.9%)であった(グラフ6)。その上で、「臨床検査学専攻 修士課程(仮称)」が予定する入学定員5名を上回る9人が「入学したい」とし、別途3人が「状況によって入学を検討したい」とした(グラフ7)。

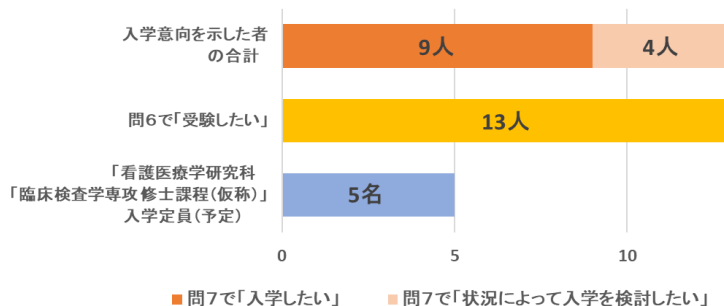
入学意向を示した理由については、「修士の学位を取得し、キャリアアップを図りたいので」9人(「入学したい」「状況によって入学を検討したい」とした計13人の69.2%)、次いで「将来、教育者、研究者になりたいので」6人(同46.2%)であった(複数回答の結果/グラフ8)。

なお、「臨床検査学専攻 修士課程(仮称)」を「受験したい」とした13人の属性について明らかにするために、次頁表1のごとくクロス集計を行っている。「入学したい」とした9人は全員が大学卒業(見込み1人含む)で、臨床検査技師(取得予定1人含む)である。居住地は5人が三重県、3人が愛知県、1人が岐阜県である。「状況によって入学を検討したい」とした4人は3人が大学卒業(見込み2人含む)、1人が専門学校卒業、また全員が臨床検査技師(見込み2人含む)である。居住地は3人が三重県、1人が愛知県である(次頁表1)。

グラフ6: 四日市看護医療大学大学院「看護医療学研究科 臨床検査学専攻 修士課程(仮称)」 受験意向(問6結果より)



グラフ7: 四日市看護医療大学大学院「看護医療学研究科 臨床検査学専攻 修士課程(仮称)」 入学意向の状況(問7結果より/一部、問6結果より)



グラフ8: 「看護医療学研究科 修士課程 臨床検査学専攻(仮称)」 に入学したいまたは検討したいとした理由(問8結果)

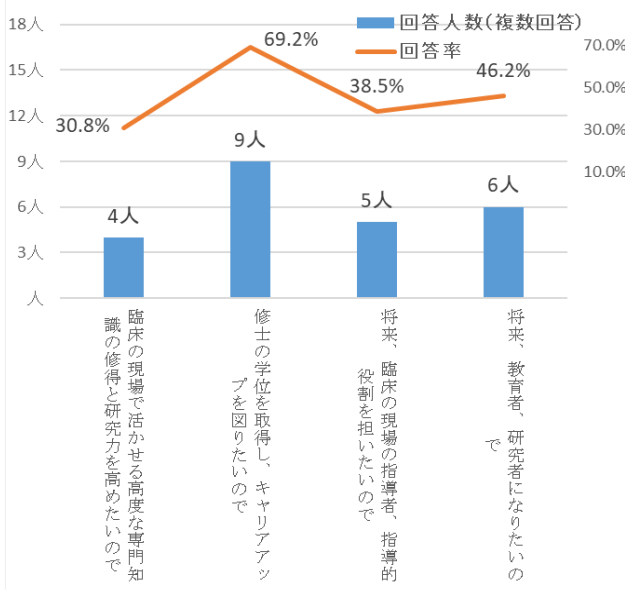


表1 「看護医療学研究科 臨床検査学専攻 修士課程(仮称)」に受験意向を示した回答者の属性(問1～7結果より)

	入学意向	居住地	所属先 (勤務先・通学先)	保有免許・資格 (見込み含む)	臨床検査技師と しての勤務年数	最終学歴 (見込み含む)
1	入学したい	三重県	病院	臨床検査技師 細胞検査士	5～9年	大学卒
2	入学したい	三重県	病院	臨床検査技師	5～9年	大学卒
3	入学したい	三重県	病院	臨床検査技師	5～9年	大学卒
4	入学したい	三重県	健診センター	臨床検査技師 細胞検査士	10～14年	大学卒
5	入学したい	三重県	臨床検査センター	臨床検査技師	5～9年	大学卒
6	入学したい	愛知県	病院	臨床検査技師	2～4年	大学卒
7	入学したい	愛知県	臨床検査センター	臨床検査技師	10～14年	大学卒
8	入学したい	愛知県	大学(学部生)	臨床検査技師	無回答 (学生のため)	大学卒
9	入学したい	岐阜県	医療機器メーカー	臨床検査技師	15～19年	大学卒
10	状況によって入学を検討したい	三重県	病院	臨床検査技師	10～14年	大学卒
11	状況によって入学を検討したい	三重県	健診センター	臨床検査技師	10～14年	専門学校卒
12	状況によって入学を検討したい	三重県	大学(学部生)	臨床検査技師 細胞検査士	無回答 (学生のため)	大学卒
13	状況によって入学を検討したい	愛知県	大学(学部生)	臨床検査技師 細胞検査士	無回答 (学生のため)	大学卒

(添付資料)



四日市看護医療大学大学院
「看護医療学研究科 修士課程 臨床検査学専攻(仮称・設置構想中)」

入学意向についてのアンケート調査

(対象：臨床検査技師の皆様、研究職に従事の皆様、臨床検査学科学生の皆様)



- ・上の記入例を参考に、黒鉛筆またはシャープペンでご回答ください。
- ・誤って記入した回答は消しゴムでしっかりと消してください。

問1 あなたが現在、お住まいの府県をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

- 三重県 愛知県 岐阜県 静岡県 滋賀県 和歌山県 その他

問2 あなたの現在の所属先(勤務先・通学先)についてお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

- 病院 健診センター 臨床検査センター 地方自治体
 医療機器メーカー 製薬会社 大学(学部生)
 その他

問3 あなたが保有している免許・資格をお答えください。現在学生の方は取得予定のものをお答えください。(あてはまるもの全てにマーク)

- 臨床検査技師 細胞検査士 その他

問4 現在、臨床検査技師としてお勤めの方におたずねします。あなたの臨床検査技師としての累計勤務年数をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

- 経験なし 2年未満 2～4年 5～9年 10～14年
 15～19年 20年以上

問5 あなたの最終学歴をお答えください。現在学生の方は卒業予定のものをお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

- 専門学校卒 短期大学卒 大学卒 大学院以上

問6 以降は別紙・四日市看護医療大学大学院「看護医療学研究科 修士課程 臨床検査学専攻(仮称)」概要をご覧の上、お答えください。

問6 あなたは四日市看護医療大学大学院「看護医療学研究科 修士課程 臨床検査学専攻(仮称)」を受験したいと思いますか。(あてはまるもの1つにマーク)

- 受験したい ⇒ 問7・問8にお答えください。
 受験しない ⇒ 問9・問10にお答えください。



本アンケート調査用紙に印刷されているQRコードは集計時に使用するものです。個人の特定を目的とするものではありません。



問7・問8は、問6で「受験したい」とした方がお答えください。

問7 あなたが四日市看護医療大学大学院「看護医療学研究科 修士課程 臨床検査学専攻(仮称)」を受験し合格した場合、入学したいと思いますか。(あてはまるもの1つにマーク)

- 入学したい 状況によって入学を検討したい

問8 あなたが四日市看護医療大学大学院「看護医療学研究科 修士課程 臨床検査学専攻(仮称)」に「入学したい」または「状況によって入学を検討したい」とされた理由をお答えください。(あてはまるもの全てにマーク)

- 臨床の現場で活かせる高度な専門知識の修得と研究力を高めたいので
 修士の学位を取得し、キャリアアップを図りたいので 将来、臨床の現場の指導者、指導的役割を担いたいので
 将来、教育者、研究者になりたいので その他

問9・問10は、問6で「受験しない」とした方がお答えください。

問9 あなたが四日市看護医療大学大学院「看護医療学研究科 修士課程 臨床検査学専攻(仮称)」を「受験しない」とされた理由をお答えください。(あてはまるもの全てにマーク)

- 大学院に進学する必要性を感じないため
 四日市看護医療大学大学院「看護医療学研究科 修士課程 臨床検査学専攻(仮称)」に魅力を感じないため 経済的、金銭的理由
 仕事が忙しいため 子育て中のため 家庭の事情 その他

問10 どのような条件が整えば大学院への進学を検討されるかご記入ください。

質問は以上となります。ご協力をいただき、ありがとうございました。



四日市看護医療大学大学院

看護医療学研究科
修士課程

臨床検査学専攻(仮称)

設置構想中

生命の尊厳と深い人間理解に基づいた臨床検査実践能力を培い、
医療科学分野でリーダーシップを担う高度専門職業人ならびに高度な専門知識を備えた教育・研究者を養成

専攻の概要

開設時期： 2024年4月(予定)
 開設場所： 四日市看護医療大学(三重県四日市市萱生町1200)
 修業年限： 2年
 入学定員： 5名(収容定員：10名)
 取得学位： 修士(臨床検査学)
 養成する人材： 四日市看護医療大学大学院「看護医療学研究科 修士課程 臨床検査学専攻(仮称)」は、以下の能力・資質を兼ね備えた人材を養成します。

1. 広い視野と柔軟な思考力・想像力を持ち、臨床検査学の開拓と進展に貢献できる臨床検査学教育・研究能力を有する人材
2. 進行する少子・高齢社会に対応して、保健・医療・福祉システムを創造的に構築できる企画・調整・統括的能力を有する人材
3. 急激に変化する経済・社会の動向に対応し、活力ある地域社会創造のためにリーダーシップを発揮でき、対象者のみならず家族や地域の健康促進に貢献できる人材
4. 人々の生活改善に直結する質の高い看護医療を提供するために、高邁な倫理観を持ち、高度な専門知識・技術を有する臨床検査学実践者となる人材
5. 産業構造の急激な変化に伴い、社会的に必要性が高まっている臨床検査学の専門的知識を有する人材

初年次納付金： 入学金20万円、授業料75万円、教育充実費15万円(計110万円)(予定)

専攻の特色

2つの分野=アプローチから臨床検査学を牽引する研究者・教育者を育成

病因解析検査学分野

病態の解析を生体物質から探る領域とし、感染防御を視野に入れた感染症起因菌の取扱い、最新の検査法について探求します。微生物検査学、生体の代謝に関連する生化学検査等を中心とする病因を解析するための検査法・分析技術・解析法について学修します。

病態機能検査学分野

病態の解析を生体機能から探る領域とし、生理機能および生体防御機能として主に血液・免疫機能を探求します。循環器、呼吸器、神経系等の生理機能検査や血液、免疫系の血液病態検査に基づく病態の検査法・解析法について学修します。

本研究科併設の看護学専攻と連携し、他分野研究者との協働が可能

臨床検査学専攻(仮称)を設置する看護医療学研究科(仮称・本専攻設置時に看護学研究科から名称変更予定)においては看護学専攻が既存にあり、先行研究、関連研究を行う中で異分野・多職種との連携の可能性を考える上で、身近な研究者(看護学専攻)である他分野研究者との協働が可能です。看護学と臨床検査学はもちろん、臨床検査学と医学・保健学との共同研究を可能にする環境にあると言えます。

臨床検査技師として「在宅医療」に貢献するための新たな領域の研究が可能

臨床検査技師が「在宅医療」に関与する例は今後、ますます増加することが予想されています。生命を尊重する倫理観と心豊かな人間性を養い、医療コミュニケーションを基に、在宅医療における臨床検査業務の実施、拡大に向け、適切な検査法、コミュニケーションを学び、新たな研究領域を拡大することが可能となります。看護学専攻との共通科目も多く、新たな視点から「在宅医療」を学ぶことができます。

疾患早期発見に向けた「新規臨床検査法の開発」に向けた発展的な研究が可能

「病態機能検査学分野」「病因解析検査学分野」の各々のアプローチより、疾患早期発見に向けた「新規臨床検査法の開発」に向けた研究が可能です。疾患プロテオミクス手法を基にした新規疾患バイオマーカーの探索、在宅医療にも関係する新たなストレスマーカーの探索など、次世代医療の発展に寄与する研究を遂行できます。

修了後の進路

四日市看護医療大学大学院の「看護医療学研究科 臨床検査学専攻(仮称)」を修了後は、以下の方面での活躍が期待されます。

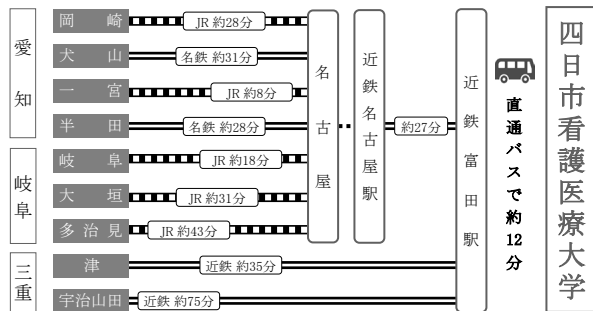
- 1 大学など教育機関の教員
- 2 病院や保健所など保健・医療機関での指導的役割
- 3 製薬会社、医療機器会社などでの研究職
- 4 大学院博士課程への進学

参考

中部地方で同様の分野・コース等を設ける大学院

名古屋大学大学院医学系研究科総合保健学専攻医療技術学コース、藤田医科大学保健学研究科保健学専攻臨床検査学領域、鈴鹿医療科学大学大学院医療科学研究科医療科学専攻臨床検査学分野、岐阜医療科学大学大学院保健医療学研究科保健医療学専攻

アクセス



学生専用駐車場(収容台数約400台)があり自動車での通学も可能です(申請要)。

一学生確保(資料) 19-

TOP画面⇒問1

四日市看護医療大学大学院
「看護医療学研究科 修士課程 臨床検査学専
攻(仮称・設置構想中)」

入学意向についてのアンケート調査

(対象：臨床検査技師の皆様、研究職に従事の皆様、臨床検査学科学生の皆様)

1ページ目 (全3ページ)

規約に同意する **必須**

本アンケートはお一人につき、一回までとなります。

同意する

規約に同意の上チェックしてください

問1 あなたが現在、お住まいの府県をお答えください。 **必須**

三重県

愛知県

岐阜県

静岡県

滋賀県

和歌山県

その他

問2・問3・問4・問5

問2 あなたの現在の所属先（勤務先・通学先）についてお答えください。

必須

<input type="radio"/> 病院	<input type="radio"/> 健診センター
<input type="radio"/> 臨床検査センター	<input type="radio"/> 地方自治体
<input type="radio"/> 医療機器メーカー	<input type="radio"/> 製薬会社
<input type="radio"/> 大学（学部生）	<input type="radio"/> その他

問3 あなたが保有している免許・資格をお答えください。現在学生の方は取得予定のものをお答えください。 **必須**

あてはまるもの全てにマークしてください。

<input type="checkbox"/> 臨床検査技師	<input type="checkbox"/> 細胞検査士
<input type="checkbox"/> その他	

問4 現在、臨床検査技師としてお勤めの方におたずねします。あなたの臨床検査技師としての累計勤務年数をお答えください。 **必須**

<input type="radio"/> 2年未満	<input type="radio"/> 2～4年
<input type="radio"/> 5～9年	<input type="radio"/> 10～14年
<input type="radio"/> 15～19年	<input type="radio"/> 20年以上

問5 あなたの最終学歴をお答えください。現在学生の方は卒業予定のものをお答えください。 **必須**

<input type="radio"/> 専門学校卒	<input type="radio"/> 短期大学卒
<input type="radio"/> 大学卒	<input type="radio"/> 大学院以上

次へ

臨床検査学専攻 修士課程(仮称) 概要資料

2ページ目 (全3ページ)

問6以降は四日市看護医療大学大学院「看護医療学研究科 修士課程 臨床検査学専攻(仮称)」概要をご覧の上、お答えください。

アンケートにご回答いただく前に、下記「四日市看護医療大学大学院「看護医療学研究科 修士課程 臨床検査学専攻(仮称)」の概要をご覧ください。

四日市看護医療大学大学院

看護医療学研究科 臨床検査学専攻(仮称) 設置構想中

生命の尊厳と深い人間理解に基づいた臨床検査実践能力を培い、
医療科学分野でリーダーシップを担う高度専門職業人ならびに高度な専門知識を備えた教育・研究者を養成

専攻の概要	<p>開設時期： 2024年4月(予定)</p> <p>開設場所： 四日市看護医療大学(三重県四日市市東生町1200)</p> <p>修業年限： 2年</p> <p>入学定員： 5名(収容定員：10名)</p> <p>取得学位： 修士(臨床検査学)</p> <p>養成する人材： 四日市看護医療大学大学院「看護医療学研究科 修士課程 臨床検査学専攻(仮称)」は、以下の能力・資質を兼ね備えた人材を養成します。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 病態と検査結果から検査力を高め、臨床検査学の最新技術に貢献できる臨床検査学専攻・研究能力を有する人材 ② 進行する少子・高齢化社会に対応して、医療・保健・福祉に社会的に貢献できる企業・施設的能力を有する人材 ③ 高度な専門知識を有する臨床検査学専攻・修士課程の修業期間中に、海外研修・海外留学・海外での臨床検査学専攻・研究能力を有する人材 ④ 人々の生活の質を向上させるための臨床検査学専攻・修士課程の修業期間中に、高度な専門知識を有する臨床検査学専攻・研究能力を有する人材 ⑤ 高度な専門知識を有する臨床検査学専攻・修士課程の修業期間中に、高度な専門知識を有する臨床検査学専攻・研究能力を有する人材 <p>初年度納入金： 入学費20万円、授業料75万円、教育充実費15万円(計110万円)(予定)</p>
専攻の特色	<p>2つの分野＝アプローチから臨床検査学を牽引する研究者・教育者を育成</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%; background-color: #f0f0f0; padding: 5px;"> <p>病態解析検査学分野</p> <p>病態の解析を生体物質から探る領域とし、感染診断を視野に入れた感染診断検査の取扱い、最新検査法について探求します。生体物質検査、生体の代謝に関連する生化学検査を中心とする病態を解析するための検査法・分析技術・解析法について学修します。</p> </div> <div style="width: 45%; background-color: #f0f0f0; padding: 5px;"> <p>病態機能検査学分野</p> <p>病態の解析を生体機能から探る領域とし、生体機能および生体調節機能として主に血液・免疫機能を探求します。循環器、呼吸器、神経系等の生体機能検査や血液、免疫系の血液検査 検査に基づく病態の検査法・解析法について学修します。</p> </div> </div> <p>本研究科併設の看護学専攻と連携し、他分野研究者との協働が可能</p> <p>臨床検査学専攻(仮称)を設ける看護医療学研究科(仮称・併設)と看護学専攻(仮称)から専攻長(予定)において看護学専攻が専攻長にあり、共同研究、共同研究を目的とした共同・多職種での協働の可能性を有する上で、各分野研究者(看護学専攻)である共同研究を目的とする協働が可能と見込まれます。</p> <p>臨床検査技師として「在宅医療」に貢献するための新たな領域の研究が可能</p> <p>臨床検査技師(在宅医療)に関与する領域を、ますます増加することが予測されています。生命を尊重する自律性と心豊かな人間性を備え、医療コミュニケーションを基に、在宅医療における臨床検査学の推進、拡大に向け、適切な検査法、コミュニケーションを学び、新たな研究領域を拡大することが可能となります。看護学専攻との共通科目も多く、新たな視点から「在宅医療」を学ぶことが出来ます。</p> <p>疾患早期発見に向けた「新規臨床検査法の開発」に向けた発展的な研究が可能</p> <p>「病態機能検査学分野」「病態解析検査学分野」の各々のアプローチより、疾患早期発見に向けた「新規臨床検査法の開発」に向けた研究が可能です。疾患予防・早期発見を基に、がん・糖尿病・バイオマーカーの探索、在宅医療にも貢献する新たなバイオマーカーの探索など、次世代医療の発展に資する研究を期待できます。</p>
修了後の進路	<p>四日市看護医療大学大学院の「看護医療学研究科 臨床検査学専攻(仮称)」を修了後は、以下の方面での活躍が期待されます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 大学など教育機関の教員 2 病院や保健所など保健・医療機関での指導的役割 3 製薬会社、医療機器会社などでの研究職 4 大学院博士課程への進学
参考	<p>中部地方で同様の分野・コース等を設ける大学院</p> <p>名古屋大学大学院医学研究科総合臨床検査学専攻臨床検査学コース、徳島大学大学院医学研究科臨床検査学専攻臨床検査学コース、岐阜大学大学院医学研究科臨床検査学専攻臨床検査学コース、岐阜大学大学院医学研究科臨床検査学専攻臨床検査学コース、岐阜大学大学院医学研究科臨床検査学専攻臨床検査学コース</p>

上記内容は構想中の内容であり、今後変更となる場合があります。

アクセス

学生専用駐車場(収容台数約400台)があり自動車の進学も可能です(申請要)。

次へ

問6にて「受験したい」選択⇒問7・問8

3ページ目 (全3ページ)

問6 あなたは四日市看護医療大学大学院「看護医療学研究科 修士課程 臨床検査学専攻(仮称)」を受験したいと思いますか。 **必須**

受験したい

受験しない

問7 あなたは四日市看護医療大学大学院「看護医療学研究科 修士課程 臨床検査学専攻(仮称)」を受験し合格した場合、入学したいと思いますか。 **必須**

入学したい

状況によって入学を検討したい

問8 あなたが四日市看護医療大学大学院「看護医療学研究科 修士課程 臨床検査学専攻(仮称)」に「入学したい」または「状況によって入学したい」とされた理由をお答えください。 **必須**

あてはまるもの全てにマークしてください。

臨床の現場で活かせる高度な専門知識の修得と研究力を高めたいので

修士の学位を取得し、キャリアアップを図りたいので

将来、臨床の現場の指導者、指導的役割を担いたいので

将来、教育者、研究者になりたいので

その他

質問は以上となります。ご協力をいただき、ありがとうございました。

送信

戻る

問6にて「受験しない」選択⇒問9

3ページ目 (全3ページ)

問6 あなたは四日市看護医療大学大学院「看護医療学研究科 修士課程 臨床検査学専攻(仮称)」を受験したいと思いませんか。 **必須**

受験したい 受験しない

問9 あなたが四日市看護医療大学大学院「看護医療学研究科 修士課程 臨床検査学専攻(仮称)」を「受験しない」とされた理由をお答えください。 **必須**

大学院に進学する必要性を感じないため

四日市看護医療大学大学院「看護医療学研究科 修士課程 臨床検査学専攻(仮称)」に魅力を感じないため

経済的、金銭的理由

仕事が忙しいため

子育て中のため

家庭の事情

その他

問10 どのような条件が整えば大学院への進学を検討されるかご記入ください。 **必須**

質問は以上となります。ご協力をいただき、ありがとうございました。

送信

戻る

【資料3】私立大学大学院修士課程等 全体および保健系

入学定員・志願者数・入学者数・充足状況

全体

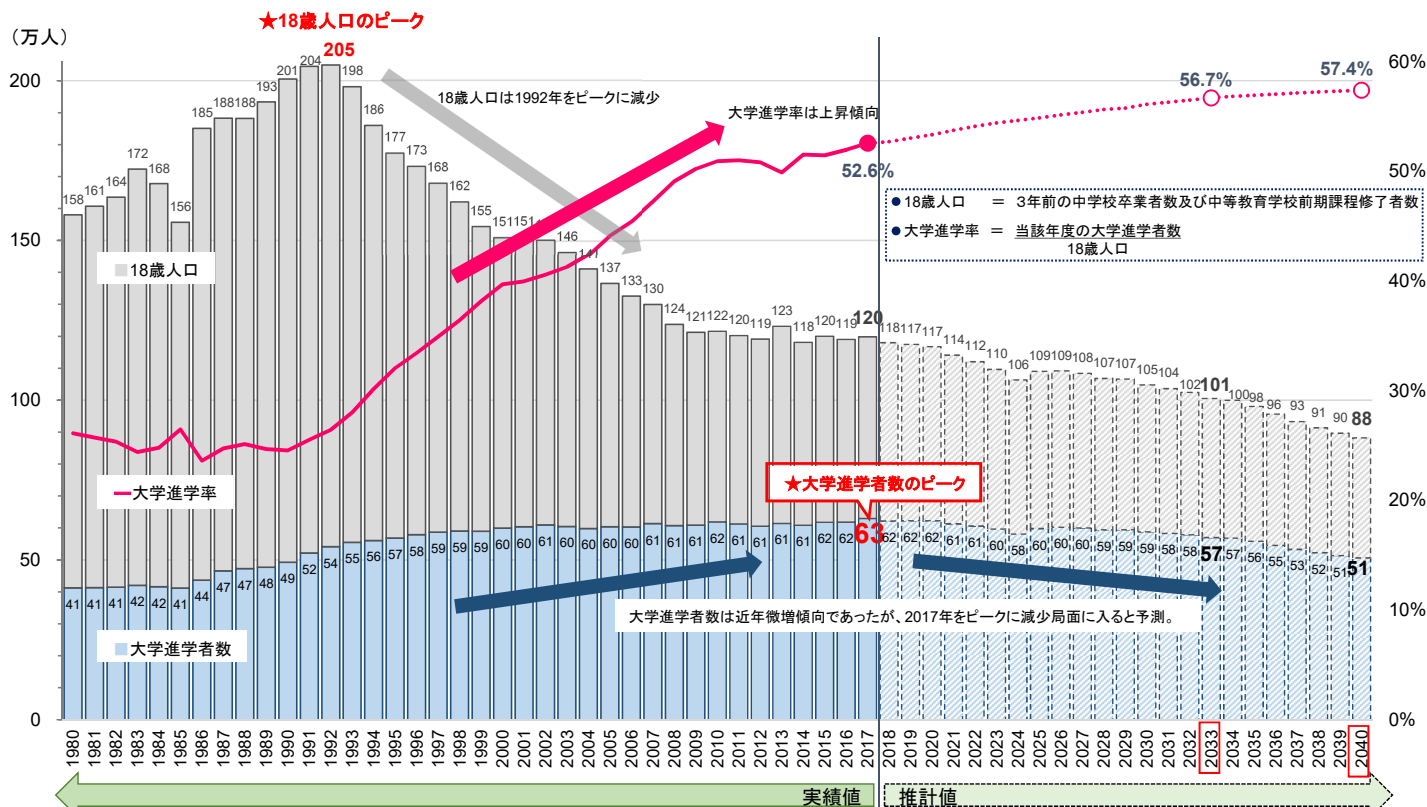
	2020年度	2021年度	2022年度
集計研究科数	1,216	1,226	1,240
入学定員	42,291	42,577	42,936
志願者数	59,581	61,162	63,625
入学者数	31,365	32,404	33,862
入学定員充足率	74.16	76.11	78.87

保健系

	2020年度	2021年度	2022年度
集計研究科数	135	144	150
入学定員	2,149	2,318	2,463
志願者数	2,158	2,370	2,599
入学者数	1,709	1,916	2,029
入学定員充足率	79.53	82.66	82.38

※日本私立学校振興・共済事業団「私立大学・短期大学等入学志願動向」より

18歳人口が減少し続ける中でも、大学進学率は上昇し、大学進学者数も増加傾向にあったが、2018年以降は18歳人口の減少に伴い、大学進学率が上昇しても大学進学者数は減少局面に入ると予測される。



【出典】○18歳人口：①1980年～2017年…文部科学省「学校基本統計」、②2018年～2029年…文部科学省「学校基本統計」を元に推計、③2030～2034年…厚生労働省「人口動態統計」の出生数に生存率を乗じて推計、④2035～2040年については国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）（出生中位・死亡中位）」を元に作成（2034年の都道府県比率で案分）
○大学進学者数及び大学進学率：①1980～2017年…文部科学省「学校基本統計」、②2018年～2040年…文部科学省による推計

高等教育に関する基礎データ(2017年基準+2040年推計)について

● 本資料では、これまで基準としていた2016年を最新の2017年に更新するとともに、国立教育政策研究所による推計（2015年の大学進学率が一定のまま推移すると仮定した場合の2033年の大学進学者数等の推計）ではなく、過去3年間の都道府県別・男女別の進学率の伸び率等を動向した大学進学率の新たな推計に基づく2040年の大学進学者数等の推計を示している。

《注》

- 18歳人口：各県における3年前の中学校卒業業者数及び中等教育学校前期課程修了者数
- 高校等卒業業者数：各県における当該年度の高等学校卒業業者数及び中等教育学校後期課程修了者数
- 大学進学者数：各県に所在する高校等を卒業した者で当該年度に全国いずれかの大学に進学した者の数（過年度卒業業者等を含む）
- 大学進学率：各県における18歳人口に占める大学進学者数の割合（過年度卒業業者等を含む）
- 大学進学率(国公私別)：各県における国公私別の「大学進学率」
- 短大進学率：各県における18歳人口に占める短大進学者数の割合（過年度卒業業者等を含む）
- 専門学校進学率(現役)：各県における高校等卒業業者数のうち、直ちに専門学校へ進学した者の割合（現役進学者のみ）
- 大学数：各県に所在する大学の数（※大学本部の所在地による。大学院大学を含む。）
- 大学数(国公私別)：各県に所在する国公私別の「大学数」
- 入学定員★：各県に所在する大学(学部)の入学定員（※入学時の学部の所在地による。学部内の学科が複数の県にまたがる場合は、入学定員数が最も多い県に集計するなど補正している。）
【例：北里大学獣医学部の所在地は青森県十和田市であるが、1年次（入学時）は神奈川県相模原市のキャンパスで学ぶため、獣医学部の定員340名は青森県ではなく、神奈川県にカウントしている。】
- 入学定員(国公私別)★：各県に所在する国公私別の大学(学部)の「入学定員」
- 大学入学者数★：当該年度に、各県に所在する大学（※入学時の学部の所在地による。）に入学した者の数（過年度卒業業者等を含む）
- 大学入学者数(国公私別)★：各県に所在する国公私別の「大学入学者数」
- 県外から流入★：当該大学の所在する県以外の高校等卒業業者で当該大学へ入学した者（過年度卒業業者等を含む）
- 県内から流出★：当該大学の所在する県内の高校等卒業業者で当該県（自県）以外の大学へ入学した者（過年度卒業業者等を含む）
- 流出入差(流入-流出)★：「県外から流入」-「県内から流出」
- 自県進学率★：各県における「大学進学者数」のうち、自県に所在する大学に進学した者の数（過年度卒業業者数を含む）
- 18歳人口推計【2040】：国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）（出生中位・死亡中位）」を元に都道府県別18歳人口比率で案分
- 大学進学者数推計【2040】：2040年の都道府県別18歳人口推計×都道府県別大学進学率推計
- 大学進学率推計【2040】：過去3年間（2014～2017年度）の都道府県別の大学進学率の伸び率を延長（※男性は進学率の上昇が著しい県は+5ptを上限とし、女性は同県の男性の進学率の同値を上限）して推計。
- 大学入学者数推計【2040】★：2040年の都道府県別大学進学者数推計を2017年現在の都道府県別大学入学者比率で案分
- 大学入学者数推計(国公私別)【2040】★：2040年の都道府県別大学進学者数推計を2017年現在の都道府県別・国公私別大学入学者比率で案分
- 入学定員充足率推計【2040】★：大学入学者数推計【2040】÷入学定員【2017】×100（入学定員が2017年と同じと仮定した場合の2040年の入学定員充足率推計）
- 入学定員充足率推計(国公私別)【2040】★：各県に所在する国公私別の大学入学定員充足率推計（2040年）

《出典》上記のうち、入学定員以外：文部科学省「学校基本統計（平成29年度）」を元に作成、★印は二次利用により得たデータを元に作成。
入学定員：文部科学省調べ（※「学校基本統計」二次利用により得たデータに合わせ、入学時の学部の所在地に再集計。）

高等教育に関する基礎データ(2017年基準+2040年推計)①

H30.2.21中央教育審議会大学分科会
将来構想部会(第13回)資料2より

	北海道	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉
18歳人口【2017】	47,624	13,256	12,530	22,026	9,303	10,850	19,782	28,661	18,920	19,530	65,774	55,647
高校等卒業者数【2017】	42,484	12,094	11,558	19,806	8,524	10,073	17,607	25,284	17,493	17,056	57,262	49,330
大学進学者数【2017】	20,912	5,056	4,735	10,132	3,592	4,240	7,785	14,793	9,085	9,139	34,585	29,574
大学進学率【2017】	43.9%	38.1%	37.8%	46.0%	38.6%	39.1%	39.4%	51.6%	48.0%	46.8%	52.6%	53.1%
(国公私別)【2017】	9.8% 2.6% 31.5%	10.4% 4.3% 23.4%	10.4% 5.1% 22.3%	8.5% 2.4% 35.1%	12.6% 4.1% 21.9%	10.6% 2.8% 25.7%	7.5% 2.4% 29.5%	8.1% 1.8% 41.7%	8.1% 1.8% 38.1%	7.6% 3.7% 35.5%	3.8% 0.8% 48.0%	4.3% 0.5% 48.3%
短大進学率【2017】	5.3%	5.6%	4.5%	3.8%	6.5%	5.9%	5.4%	3.3%	4.6%	4.9%	4.1%	3.5%
専門学校進学率(現役)【2017】	21.9%	15.1%	17.4%	15.7%	17.0%	18.5%	18.8%	17.9%	17.3%	18.4%	16.7%	17.8%
大学数【2017】	38	10	6	14	7	6	8	9	9	13	28	27
(国公私別)【2017】	7 5 26	1 2 7	1 1 4	2 1 11	1 3 3	1 2 3	1 2 5	3 1 5	1 0 8	1 4 8	1 1 26	1 1 25
入学定員【2017】	18,917	3,472	2,826	11,374	2,090	2,624	3,389	6,948	4,703	6,381	29,340	26,060
入学定員(国公私別)【2017】	5,617 1,095 12,205	1,322 510 1,640	1,030 440 1,356	2,741 415 8,218	955 665 470	1,675 143 806	945 454 1,990	3,737 170 3,041	910 0 3,793	1,098 1,482 3,801	1,535 395 27,410	2,598 180 23,282
大学入学者数【2017】	19,053	3,421	2,625	11,845	2,059	2,794	3,351	7,261	4,597	6,720	30,804	26,505
(国公私別)【2017】	5,846 1,157 12,050	1,352 548 1,521	1,091 463 1,071	2,825 438 8,582	1,000 666 393	1,731 151 912	993 461 1,897	3,901 170 3,190	951 0 3,646	1,141 1,696 3,883	1,594 405 28,805	2,701 183 23,621
県外から流入【2017】	5,000	1,473	1,266	5,957	1,195	1,906	1,774	4,298	2,543	4,086	20,387	16,772
県内から流出【2017】	6,859	3,108	3,376	4,244	2,728	3,352	6,208	11,830	7,031	6,505	24,168	19,841
流出入差(流入-流出)【2017】	-1,859	-1,635	-2,110	1,713	-1,533	-1,446	-4,434	-7,532	-4,488	-2,419	-3,781	-3,069
自県進学率【2017】	67.2%	38.5%	28.7%	58.1%	24.1%	20.9%	20.3%	20.0%	22.6%	28.8%	30.1%	32.9%
18歳人口推計【2040】	31,499	7,499	7,607	15,601	5,135	6,755	11,794	19,251	13,491	12,581	47,985	41,481
大学進学者数推計【2040】	17,121	3,397	3,340	7,409	2,098	2,639	5,598	10,305	6,868	6,172	28,770	23,873
大学進学率推計【2040】	54.4%	45.3%	43.9%	47.5%	40.9%	39.1%	47.5%	53.5%	50.9%	49.1%	60.0%	57.6%
大学入学者数推計【2040】	15,389	2,408	1,866	8,533	1,391	1,947	2,422	5,507	3,432	4,951	25,630	21,767
(国公私別)【2040】(※注)	4,722 935 9,733	952 386 1,071	775 329 761	2,035 316 6,182	675 450 265	1,206 105 636	718 333 1,371	2,959 129 2,420	710 0 2,722	841 1,250 2,861	1,326 337 23,966	2,218 150 19,398
入学定員充足率推計【2040】	81.4%	69.4%	66.0%	75.0%	66.5%	74.2%	71.5%	79.3%	73.0%	77.6%	87.4%	83.5%
(国公私別)【2040】(※注)	84.1% 85.3% 79.7%	72.0% 75.6% 65.3%	75.3% 74.8% 56.1%	74.2% 76.0% 75.2%	70.7% 67.6% 56.5%	72.0% 73.6% 78.9%	75.9% 73.4% 68.9%	79.2% 75.8% 79.6%	78.0%	71.8% 76.6% 84.3%	75.3% 86.4% 85.3%	87.4% 85.4% 83.5%

(※注)2017年の国公私の割合(実績値)のまま機械的に試算したもの。

高等教育に関する基礎データ(2017年基準+2040年推計)②

H30.2.21中央教育審議会大学分科会
将来構想部会(第13回)資料2より

	東京	神奈川	新潟	富山	石川	福井	山梨	長野	岐阜	静岡	愛知	三重
18歳人口【2017】	105,971	80,472	22,252	10,063	11,393	8,156	8,325	21,297	20,795	35,989	74,550	18,382
高校等卒業者数【2017】	102,326	66,400	19,427	9,115	10,550	7,564	8,229	18,898	18,379	32,825	65,204	16,212
大学進学者数【2017】	77,103	43,758	9,169	4,559	5,658	4,092	5,041	8,980	9,725	17,323	38,905	8,299
大学進学率【2017】	72.8%	54.4%	41.2%	45.3%	49.7%	50.2%	60.6%	42.2%	46.8%	48.1%	52.2%	45.1%
(国公私別)【2017】	6.2% 0.9% 65.7%	3.4% 1.1% 49.9%	8.6% 3.0% 29.7%	14.9% 4.1% 26.3%	13.8% 3.6% 32.3%	13.1% 5.6% 31.4%	8.9% 5.0% 46.7%	8.2% 3.3% 30.7%	9.1% 2.8% 34.9%	7.8% 3.5% 36.8%	9.1% 2.8% 40.3%	8.6% 2.3% 34.2%
短大進学率【2017】	2.5%	3.5%	4.3%	6.7%	6.9%	5.3%	5.6%	8.7%	6.9%	4.1%	3.8%	4.9%
専門学校進学率(現役)【2017】	11.7%	15.7%	26.0%	17.0%	13.5%	14.8%	17.5%	20.8%	13.2%	17.2%	12.6%	15.0%
大学数【2017】	138	32	18	5	12	6	7	9	12	12	51	7
(国公私別)【2017】	12 2 124	2 2 28	3 3 12	1 1 3	2 3 7	1 2 3	1 2 4	1 2 6	1 3 8	2 2 8	4 4 43	1 1 5
入学定員【2017】	142,722	45,971	5,907	2,450	5,901	2,275	3,835	3,428	4,820	8,001	40,877	3,110
入学定員(国公私別)【2017】	9,740 1,570 131,412	1,662 1,070 43,239	2,482 585 2,840	1,800 330 320	1,726 350 3,825	855 425 995	825 990 2,020	1,978 380 1,070	1,240 200 3,380	2,145 890 4,968	3,982 1,708 35,187	1,310 100 1,700
大学入学者数【2017】	153,113	49,011	5,972	2,480	6,063	2,418	3,829	3,621	4,649	8,157	43,163	3,299
(国公私別)【2017】	10,180 1,641 141,292	1,713 1,188 46,110	2,588 620 2,764	1,853 356 271	1,779 376 3,908	875 476 1,067	854 1,148 1,827	2,074 448 1,099	1,271 212 3,166	2,193 988 4,976	4,177 1,787 37,199	1,370 100 1,829
県外から流入【2017】	102,137	31,242	2,711	1,547	3,534	1,135	2,622	2,173	2,730	3,255	15,170	1,595
県内から流出【2017】	26,127	25,989	5,908	3,626	3,129	2,809	3,834	7,532	7,806	12,421	10,912	6,595
流出入差(流入-流出)【2017】	76,010	5,253	-3,197	-2,079	405	-1,674	-1,212	-5,359	-5,076	-9,166	4,258	-5,000
自県進学率【2017】	66.1%	40.6%	35.6%	20.5%	44.7%	31.4%	23.9%	16.1%	19.7%	28.3%	72.0%	20.5%
18歳人口推計【2040】	106,569	61,879	14,216	6,610	7,819	5,414	5,195	13,687	13,839	24,828	57,157	12,497
大学進学者数推計【2040】	77,539	34,848	5,863	3,157	4,179	3,255	3,721	5,770	6,949	12,762	31,099	5,804
大学進学率推計【2040】	72.8%	56.3%	41.2%	47.8%	53.4%	60.1%	71.6%	42.2%	50.2%	51.4%	54.4%	46.4%
大学入学者数推計【2040】	131,389	40,573	4,032	1,804	4,469	1,883	2,942	2,610	3,516	6,168	33,550	2,442
(国公私別)【2040】(※注)	8,736 1,408 121,246	1,418 983 38,171	1,747 419 1,866	1,348 259 197	1,311 277 2,881	681 371 831	656 882 1,404	1,495 323 792	961 160 2,395	1,658 747 3,762	3,247 1,389 28,914	1,014 74 1,354
入学定員充足率推計【2040】	92.1%	88.3%	68.3%	73.6%	75.7%	82.8%	76.7%	76.2%	73.0%	77.1%	82.1%	78.5%
(国公私別)【2040】(※注)	89.7% 89.7% 92.3%	85.3% 91.9% 88.3%	70.4% 71.6% 65.7%	74.9% 78.5% 61.6%	76.0% 79.2% 75.3%	79.7% 87.2% 83.5%	79.5% 89.1% 69.5%	75.6% 85.0% 74.0%	77.5% 80.2% 70.8%	77.3% 83.9% 75.8%	81.5% 81.3% 82.2%	77.4% 74.0% 79.6%

(※注)2017年の国公私の割合(実績値)のまま機械的に試算したもの。

高等教育に関する基礎データ(2017年基準+2040年推計)③

H30.2.21中央教育審議会大学分科会
将来構想部会(第13回)資料2より

	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	鳥取	島根	岡山	広島	山口	徳島
18歳人口【2017】	14,537	24,543	85,687	54,774	14,072	9,998	5,427	6,517	19,189	27,297	13,098	7,159
高校等卒業生数【2017】	12,884	23,480	75,858	47,201	12,061	8,986	4,881	6,045	17,762	23,780	11,321	6,443
大学進学人数【2017】	7,182	15,884	47,347	30,147	8,016	4,324	2,115	2,650	9,183	14,995	5,069	3,318
大学進学率【2017】	49.4%	64.7%	55.3%	55.0%	57.0%	43.2%	39.0%	40.7%	47.9%	54.9%	38.7%	46.3%
(国公私別)【2017】	7.1% 2.9% 39.4%	8.4% 3.9% 52.4%	5.4% 2.7% 47.2%	8.5% 3.8% 42.7%	9.6% 3.9% 43.4%	9.5% 4.0% 29.7%	13.3% 3.1% 22.6%	13.9% 4.3% 22.5%	12.7% 3.4% 31.8%	11.6% 5.1% 38.2%	9.9% 4.1% 24.7%	14.5% 2.7% 29.1%
短大進学率【2017】	5.7%	5.4%	5.5%	4.4%	5.4%	5.6%	7.3%	6.9%	4.1%	3.8%	5.0%	4.9%
専門学校進学率(現役)【2017】	16.9%	13.7%	15.0%	13.9%	14.1%	16.7%	19.3%	22.0%	17.1%	11.8%	16.5%	16.6%
大学数【2017】	8	34	55	37	11	3	3	2	17	20	10	4
(国公私別)【2017】	2 1 5	3 4 27	2 2 51	2 3 32	3 2 6	1 1 1	1 1 1	1 1 0	1 2 14	1 4 15	1 3 6	2 0 2
入学定員【2017】	7,098	32,736	51,582	26,955	4,813	1,605	1,496	1,457	9,670	13,531	4,226	2,983
入学定員(国公私別)【2017】	950 600 5,548	3,706 920 28,110	4,155 2,776 44,651	2,690 1,792 22,473	730 348 3,735	890 180 535	1,140 276 80	1,157 300 0	2,198 430 7,042	2,338 1,515 9,678	1,917 959 1,350	1,388 0 1,595
大学入学人数【2017】	7,498	33,783	54,891	28,060	4,993	1,640	1,591	1,516	9,330	13,547	4,290	2,769
(国公私別)【2017】	1,023 641 5,834	3,837 979 28,967	4,276 2,916 47,699	2,792 1,873 23,395	786 362 3,845	936 181 523	1,181 320 90	1,195 321 0	2,278 472 6,580	2,466 1,689 9,392	1,997 1,019 1,274	1,447 0 1,322
県外から流入【2017】	5,968	25,789	27,862	14,270	3,799	1,148	1,275	1,125	5,279	5,726	3,098	1,506
県内から流出【2017】	5,652	7,890	20,318	16,357	6,822	3,832	1,799	2,259	5,132	7,174	3,877	2,055
流出入差(流入-流出)【2017】	316	17,899	7,544	-2,087	-3,023	-2,684	-524	-1,134	147	-1,448	-779	-549
自県進学率【2017】	21.3%	50.3%	57.1%	45.7%	14.9%	11.4%	14.9%	14.8%	44.1%	52.2%	23.5%	38.1%
18歳人口推計【2040】	11,375	17,431	58,280	39,050	8,874	6,224	3,994	4,887	13,744	20,268	8,972	4,789
大学進学人数推計【2040】	6,233	12,868	34,683	22,294	5,452	2,914	1,821	2,127	7,436	11,564	3,623	2,216
大学進学率推計【2040】	54.8%	73.8%	59.5%	57.1%	61.4%	46.8%	45.6%	43.5%	54.1%	57.1%	40.4%	46.3%
大学入学人数推計【2040】	5,919	26,287	41,083	21,098	3,691	1,186	1,256	1,201	7,358	10,519	3,419	1,997
(国公私別)【2040】(※注)	808 506 4,606	2,986 762 22,540	3,200 2,182 35,700	2,099 1,408 17,590	581 268 2,842	677 131 378	932 253 71	946 254 0	1,796 372 5,189	1,915 1,312 7,293	1,592 812 1,015	1,044 0 953
入学定員充足率推計【2040】	83.4%	80.3%	79.6%	78.3%	76.7%	73.9%	84.0%	82.4%	76.1%	77.7%	80.9%	66.9%
(国公私別)【2040】(※注)	85.0% 84.3% 83.0%	80.6% 82.8% 80.2%	77.0% 78.6% 80.0%	78.0% 78.6% 78.3%	79.6% 76.9% 76.1%	76.1% 72.7% 70.7%	81.8% 91.5% 88.8%	81.8% 84.7%	81.7% 86.6% 73.7%	81.9% 86.6% 75.4%	83.0% 84.7% 75.2%	75.2% 59.8%

(※注)2017年の国公私の割合(実績値)のまま機械的に試算したもの。

高等教育に関する基礎データ(2017年基準+2040年推計)④

H30.2.21中央教育審議会大学分科会
将来構想部会(第13回)資料2より

	香川	愛媛	高知	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄	その他
18歳人口【2017】	9,652	13,586	6,626	48,031	9,058	14,269	17,635	10,921	11,299	16,389	16,978	
高校等卒業生数【2017】	8,662	11,480	6,081	42,435	8,106	12,977	15,622	10,102	10,329	14,765	14,607	
大学進学人数【2017】	4,733	6,373	2,685	23,157	3,566	5,471	7,453	4,029	4,267	6,184	6,304	19,041
大学進学率【2017】	49.0%	46.9%	40.5%	48.2%	39.4%	38.3%	42.3%	36.9%	37.8%	37.7%	37.1%	
(国公私別)【2017】	12.5% 3.0% 33.5%	13.9% 3.6% 29.5%	8.7% 5.7% 26.1%	10.0% 3.0% 35.2%	12.5% 2.4% 24.5%	13.1% 4.5% 20.8%	9.6% 3.8% 28.9%	12.5% 3.7% 20.7%	12.0% 3.9% 21.9%	12.1% 2.7% 22.9%	9.7% 3.0% 24.5%	
短大進学率【2017】	5.2%	5.7%	6.0%	5.1%	5.2%	4.6%	3.5%	7.9%	5.6%	7.8%	3.8%	
専門学校進学率(現役)【2017】	15.5%	18.5%	17.6%	16.2%	15.1%	17.2%	17.7%	20.5%	16.0%	20.1%	25.0%	
大学数【2017】	4	5	3	35	2	8	9	5	7	6	8	
(国公私別)【2017】	1 1 2	1 1 3	1 2 0	3 4 28	1 0 1	1 1 6	1 1 7	1 1 3	1 2 4	2 0 4	1 3 4	
入学定員【2017】	2,184	3,630	1,935	24,675	1,741	4,021	5,902	3,520	2,510	3,700	3,912	
入学定員(国公私別)【2017】	1,239 90 855	1,770 100 1,760	1,075 860 0	4,111 1,970 18,594	1,291 0 450	1,641 690 1,690	1,672 480 3,750	1,070 80 2,370	1,035 300 1,175	2,075 0 1,625	1,547 640 1,725	
大学入学人数【2017】	2,077	3,789	2,045	26,320	1,772	3,921	5,851	3,097	2,329	3,570	4,244	
(国公私別)【2017】	1,279 90 708	1,866 100 1,823	1,131 914 0	4,234 2,083 20,003	1,339 0 433	1,687 747 1,487	1,737 525 3,589	1,105 83 1,909	1,064 310 955	2,164 0 1,406	1,589 676 1,979	
県外から流入【2017】	1,256	1,694	1,501	11,191	1,230	2,064	2,503	2,100	1,217	1,490	817	
県内から流出【2017】	3,912	4,278	2,141	8,028	3,024	3,614	4,105	3,032	3,155	4,104	2,877	
流出入差(流入-流出)【2017】	-2,656	-2,584	-640	3,163	-1,794	-1,550	-1,602	-932	-1,938	-2,614	-2,060	
自県進学率【2017】	17.3%	32.9%	20.3%	65.3%	15.2%	33.9%	44.9%	24.7%	26.1%	33.6%	54.4%	
18歳人口推計【2040】	6,712	8,981	4,366	39,997	6,371	9,514	13,828	8,020	8,133	12,605	14,974	
大学進学人数推計【2040】	3,330	4,901	2,049	21,390	2,978	3,907	6,743	3,013	3,414	6,010	5,778	16,724
大学進学率推計【2040】	49.6%	54.6%	46.9%	53.5%	46.7%	41.1%	48.8%	37.6%	42.0%	47.7%	38.6%	
大学入学人数推計【2040】	1,549	2,907	1,562	23,092	1,519	3,088	5,149	2,512	1,917	3,268	3,807	
(国公私別)【2040】(※注)	954 67 528	1,432 77 1,399	864 698 0	3,715 1,827 17,549	1,148 0 371	1,329 588 1,171	1,529 462 3,158	896 67 1,548	876 255 786	1,981 0 1,287	1,425 606 1,775	
入学定員充足率推計【2040】	70.9%	80.1%	80.7%	93.6%	87.3%	76.8%	87.2%	71.4%	76.4%	88.3%	97.3%	
(国公私別)【2040】(※注)	77.0% 74.6% 61.7%	80.9% 76.7% 79.5%	80.4% 81.2%	90.4% 92.8% 94.4%	88.9%	82.5% 81.0% 85.3%	89.3% 91.4% 96.3%	84.2%	83.8% 84.2% 65.3%	84.6% 85.0% 66.9%	95.5%	79.2% 92.1% 94.8%

(※注)2017年の国公私の割合(実績値)のまま機械的に試算したもの。

【資料5】

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会組織調査

(令和3年3月31日) 時点

(都道府県別臨床検査技師数)

所属都道府県技師会		平成27年度 (H28/3/31)	平成28年度 (H29/3/31)	平成29年度 (H30/3/31)	平成30年度 (H31/3/31)	令和元年度 (R2/3/31)	令和2年度 (R3/3/31)
01	北海道	2,992	3,063	3,118	3,190	3,227	3,235
02	青森県	605	614	634	618	632	636
03	岩手県	542	552	571	565	581	583
04	宮城県	1,030	1,044	1,080	1,096	1,126	1,133
05	秋田県	590	589	588	590	596	586
06	山形県	610	610	605	611	615	613
07	福島県	1,092	1,096	1,109	1,120	1,137	1,142
15	新潟県	1,305	1,336	1,357	1,388	1,387	1,373
99	日臨技	64	85	109	132	146	119
[北日本支部]		8,830	8,989	9,171	9,310	9,447	9,420
08	茨城県	1,195	1,201	1,221	1,256	1,296	1,314
09	栃木県	890	888	926	941	969	983
10	群馬県	959	991	1,023	1,036	1,069	1,097
11	埼玉県	2,607	2,753	2,912	3,042	3,183	3,253
19	山梨県	456	457	472	469	491	498
20	長野県	1,314	1,334	1,360	1,383	1,393	1,406
99	日臨技	177	211	271	385	499	436
[関甲信支部]		7,598	7,835	8,185	8,512	8,900	8,987
12	千葉県	1,932	2,041	2,105	2,182	2,242	2,332
13	東京都	5,277	5,539	5,809	6,125	6,451	6,599
14	神奈川県	3,218	3,305	3,364	3,422	3,492	3,566
99	日臨技	382	473	620	882	1,097	959
[首都圏支部]		10,809	11,358	11,898	12,611	13,282	13,456
16	富山県	555	563	574	576	568	571
17	石川県	683	698	703	713	724	725
21	岐阜県	822	830	846	860	895	900
22	静岡県	1,613	1,642	1,673	1,722	1,775	1,833
23	愛知県	3,091	3,177	3,269	3,354	3,460	3,524
24	三重県	659	673	690	707	704	721
99	日臨技	120	158	203	253	302	270
[中部圏支部]		7,543	7,741	7,958	8,185	8,428	8,544
18	福井県	374	386	392	390	390	390
25	滋賀県	526	537	565	583	599	624
26	京都府	965	1,025	1,093	1,163	1,202	1,229
27	大阪府	2,981	3,111	3,249	3,473	3,629	3,669
28	兵庫県	1,698	1,796	1,875	1,955	2,091	2,176
29	奈良県	596	603	613	626	634	656
30	和歌山県	345	345	360	361	378	389
99	日臨技	361	424	492	672	850	749
[近畿支部]		7,846	8,227	8,639	9,223	9,773	9,882
31	鳥取県	329	327	332	333	333	346
32	島根県	442	433	441	446	452	453
33	岡山県	1,343	1,365	1,401	1,425	1,443	1,434
34	広島県	1,690	1,750	1,789	1,819	1,862	1,866
35	山口県	768	793	795	797	809	817
36	徳島県	430	437	442	435	446	434
37	香川県	661	669	685	701	702	720
38	愛媛県	786	799	803	814	822	820
39	高知県	634	657	657	679	670	665
99	日臨技	77	96	129	157	182	140
[中四国支部]		7,160	7,326	7,474	7,606	7,721	7,695
40	福岡県	3,081	3,183	3,243	3,355	3,473	3,503
41	佐賀県	326	323	315	321	329	327
42	長崎県	829	857	869	878	884	898
43	熊本県	1,152	1,193	1,221	1,266	1,338	1,356
44	大分県	731	760	787	800	821	829
45	宮崎県	458	475	478	484	496	506
46	鹿児島県	588	611	619	649	692	708
47	沖縄県	733	778	826	842	853	856
99	日臨技	113	149	176	230	241	195
[九州支部]		8,011	8,329	8,534	8,825	9,127	9,178
98	その他(支部不明)						
99	日臨技(支部不明)			1	1	1	
[支部不明]		0	0	1	1	1	0
【合計】		57,797	59,805	61,860	64,273	66,679	67,162

(発行日：令和3年4月5日)

【資料6】東海地方の大学院保健系研究科（臨床検査関連科目含む）

入学定員および入学者数

大学院名	研究科名	専攻名	2020年度		2021年度		2022年度	
			入学定員	入学者数	入学定員	入学者数	入学定員	入学者数
名古屋大学大学院	医学系研究科	総合保健学専攻	70	65	70	58	70	66
藤田医科大学大学院	保健学研究科	保健学専攻	50	47	50	61	50	59
中部大学大学院	生命健康科学研究科	生命医科学専攻	12	3	12	12	12	9
岐阜医療科学大学大学院	保健医療学研究科	保健医療学専攻	9	5	9	7	9	5
鈴鹿医療科学大学大学院	医療科学研究科	医療科学専攻	30	30	30	22	30	17
合計			171	150	171	160	171	156
入学定員充足率			87.7%		93.6%		91.2%	

【資料7】

四日市看護医療大学大学院
「看護医療学研究科 臨床検査学専攻 修士課程（仮称）」
設置に係る人材需要の見通し調査
（採用意向についてのアンケート調査）
報告書

2023（令和5）年2月

株式会社高等教育総合研究所

四日市看護医療大学大学院
「看護医療学研究科 臨床検査学専攻 修士課程(仮称)」
設置に係る人材需要の見通し調査
(採用意向についてのアンケート調査)

報告書 目次

1. 採用意向についてのアンケート調査 実施概要	3
2. 採用意向についてのアンケート調査 集計結果	4
3. 採用意向についてのアンケート調査 集計結果ポイント	8
(添付資料)	11
採用意向についてのアンケート調査用紙(紙方式)	12
「看護医療学研究科 臨床検査学専攻 修士課程(仮称)」概要(紙方式)	14
採用意向についてのアンケート調査回答画面(Web方式)	15

1. 採用意向についてのアンケート調査 実施概要

調査対象	四日市看護医療大学が2024(令和6)年度に設置構想中の大学院「看護医療学研究科 臨床検査学専攻 修士課程(仮称)」の養成する人材について採用が見込まれる主に東海地方(一部、滋賀県、和歌山県を含む)の病院、臨床検査企業、健診センター、製薬会社、医療機器メーカー、地方自治体など、合計407箇所を対象にアンケートを依頼した。
調査内容	●回答元の基本情報(所在地、種類、修士課程修了の臨床検査技師の勤務状況) ●四日市看護医療大学大学院「看護医療学研究科 臨床検査学専攻 修士課程(仮称)」が養成する人材のニーズ、採用意向、勤務する人材への進学推奨について。 全8問で主に選択肢式7問、記述式1問。
調査時期	2022(令和4)年12月～2023(令和5)年1月
調査方法	リストアップした対象先に、アンケート用紙・「看護医療学研究科 臨床検査学専攻 修士課程(仮称)」概要・返信用封筒ならびにWeb方式回答サイトQRコードを送付。ご協力いただける場合、紙方式は返送用封筒での返送、Web方式は指定サイトにアクセスの上で回答・送信いただく形とした(紙方式・Web方式いずれかのみ)の回答とした。
回答件数	有効回答数65箇所(返送率16.0%)

2. 採用意向についてのアンケート調査 集計結果

※「構成比」(%)はいずれも、小数点第二位を四捨五入。

問1 貴機関・貴施設・貴社の所在地をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目		回答数	構成比
1	三重県	21	32.3%
2	愛知県	19	29.2%
3	岐阜県	3	4.6%
4	静岡県	11	16.9%
5	滋賀県	9	13.8%
6	和歌山県	0	0.0%
7	その他 ※大阪府1、東京都1	2	3.1%
	無回答	0	0.0%
合計		65	100.0%

問2 貴機関・貴施設・貴社の種別をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目		回答数	構成比
1	病院	43	66.2%
2	健診センター	6	9.2%
3	臨床検査センター	2	3.1%
4	地方自治体	6	9.2%
5	医療機器メーカー	2	3.1%
6	製薬会社	5	7.7%
19	その他 ※健康増進施設及び健診センター1	1	1.5%
	無回答	0	0.0%
合計		65	100.0%

問3 貴機関・貴施設・貴社に、大学院修士課程(博士前期課程)修了の臨床検査技師はおられますか。(勤務されている場合、ご支障なければ勤務される人数を□に記載いただければ幸いです)

選択項目		回答数	構成比
1	勤務している	18	27.7%
2	勤務していない	38	58.5%
3	わからない	7	10.8%
	無回答	2	3.1%
合計		65	100.0%

問3で「勤務している」とした大学院修士課程(博士前期課程)修了の臨床検査技師の勤務人数

回答した勤務人数		回答数	人数合計
1人		6	6
2人		2	4
4人		1	4
5人		1	5
12人		1	12
20人		1	20
無回答		6	-
合計		18	51

※「勤務している」とした18箇所中12箇所が人数を回答。1箇所平均は合計51人÷12箇所=4.25人

問4以降は別紙・四日市看護医療大学大学院「看護医療学研究科 臨床検査学専攻 修士課程(仮称)」概要を確認の上、回答を求めた。

問4 四日市看護医療大学が設置構想中の大学院「看護医療学研究科 修士課程 臨床検査学専攻(仮称)」は社会的ニーズが高いと思われますか。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目		回答数	構成比
1	社会的ニーズは高い	4	6.2%
2	社会的ニーズはある程度高い	43	66.2%
3	社会的ニーズはあまり高くない	17	26.2%
4	社会的ニーズは高くない	1	1.5%
	無回答	0	0.0%
合計		65	100.0%

問5 四日市看護医療大学が設置構想中の大学院「看護医療学研究科 修士課程 臨床検査学専攻(仮称)」が養成する人材を採用したいと思いますか。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目		回答数	構成比
1	採用したい	11	16.9%
2	採用しない	9	13.8%
3	わからない	44	67.7%
	無回答	1	1.5%
合計		65	100.0%

【問6は問5で「採用したい」と回答いただいた場合にお答えください】四日市看護医療大学が設置構想中の大学院「看護医療学研究科 修士課程 臨床検査学専攻(仮称)」が養成する人材について、採用可能と思われる人数をお答えください。(それぞれあてはまるもの1つにマーク)

選択項目		回答数	人数合計
1	1名	7	7
2	2名	4	8
3	3名	0	0
4	4名	0	0
5	5名以上	0	0
	無回答	0	-
合計		11	15

問7 貴機関・貴施設・貴社で勤務されている臨床検査技師や研究職に従事する方を四日市看護医療大学大学院「看護医療学研究科 修士課程 臨床検査学専攻(仮称)」に進学・入学させるご意向についてお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目		回答数	構成比
1	研修制度(就学助成金)・休職制度などを利用させ、進学・入学させたい	0	0.0%
2	現職のまま進学・入学させたい	0	0.0%
3	進学・入学を推奨するが、本人の意思に任せる	8	12.3%
4	進学・入学を推奨する予定はない	34	52.3%
5	わからない	23	35.4%
	無回答	0	0.0%
合計		65	100.0%

問8 四日市看護医療大学が設置構想中の大学院「看護医療学研究科 修士課程 臨床検査学専攻(仮称)」について期待される点、ご要望等がありましたら、ご自由にご記入ください。

回答内容	
1	修士課程を卒業が採用理由にならず、活躍できる臨床検査技師を採用したい。
2	東海エリア限定での採用は実施しておりません。
3	細胞検査士を持った臨床検査技師は多くないので、採用したい施設はあると思います。
4	ワークライフバランスや働き方の多様化に合わせた実務研修等が組み込まれば、職員の進学意欲も高まると思います。
5	志しが高く、素晴らしいことですが、通えない。
6	「在宅医療」に関する研究が魅力的ですが、臨床検査技師の採用計画は未定です。
7	これから必要とされるであろう、遺伝子検査や遺伝子カウンセラーに関する教育を望みます。
8	研究職の希望者や専門分野の活性化にとっては良いことだと思います。
9	勤務しながら、通学できる。
10	まさにこれからの臨床検査技師がこうなるべきだと思います。就職後の現場で教育するとしても時間がなかったり、どのように教育を進めるのかもハッキリしていないので、キッチリと優秀な先生方に教えて頂くことで、効率よく知識を身に着けられると考えます。とても期待しております。

3. 採用意向についてのアンケート調査 集計結果ポイント

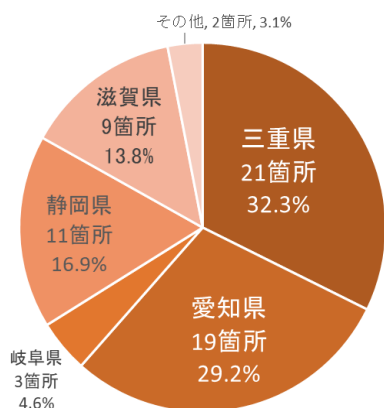
①回答元の基本情報

Point 1 本アンケート調査に対し、三重県をはじめとする東海地方を中心に、臨床検査技師が勤務する病院、健診センター、地方自治体、製薬会社など、計65箇所が回答。

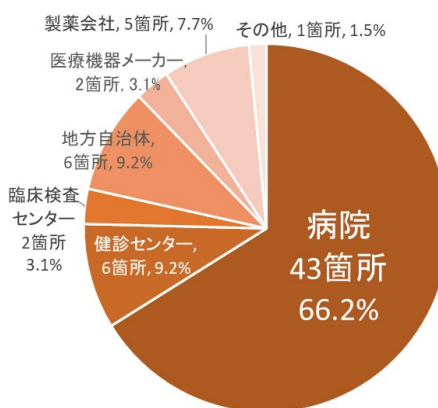
四日市看護医療大学が2024(令和6)年度に設置構想中の大学院「看護医療学研究科 臨床検査学専攻 修士課程(仮称)」の人材需要の見通しを検証するため、採用意向アンケート調査を実施し、65箇所から回答を得た。

回答元の所在地として最も多かったのは「三重県」21箇所(32.3%)で、以下、「愛知県」19箇所(29.2%)、「静岡県」11箇所(16.9%)、「滋賀県」9箇所(13.8%)、「その他」2箇所(3.1%)であった。(グラフ1/「その他」2箇所は東京都、大阪府。送付先は東海地方の支社であったが本社から回答があったと思われる)。回答元種類としては「病院」43箇所(66.2%)が最も多く、以下「健診センター」「地方自治体」各6箇所(9.2%)、「製薬会社」5箇所(7.7%)、「臨床検査センター」「医療機器メーカー」各2箇所(3.1%)であった(グラフ2)。大学院修士課程(博士前期課程)修了の臨床検査技師勤務状況については「勤務している」としたのが18箇所(27.7%)であった(グラフ3)。その上で示された勤務人数は、「1人」6箇所が最も多く、「2人」2箇所、「4人」「5人」各1箇所、さらに「12人」「20人」も各1箇所あった(グラフ4)。

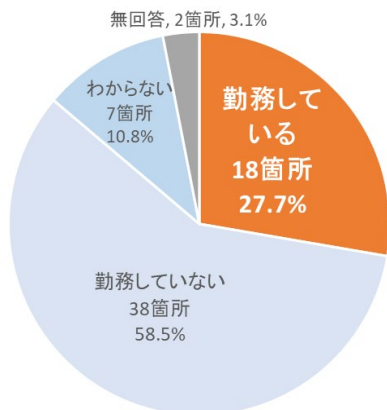
グラフ1: 回答元の所在地(問1結果より)



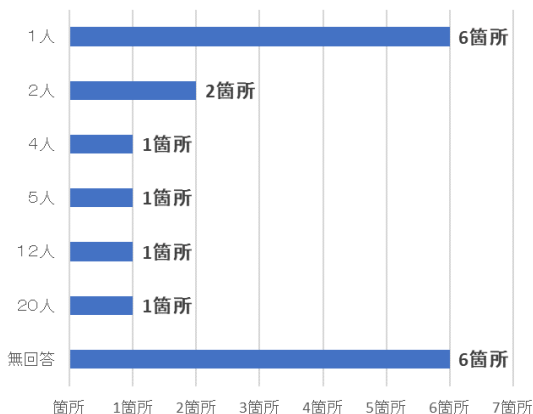
グラフ2: 回答元の種類(問2結果より)



グラフ3: 大学院修士課程(博士前期課程)修了の臨床検査技師勤務状況(問3結果より)



グラフ4: 大学院修士課程(博士前期課程)修了の臨床検査技師勤務人数(問3結果より)



②四日市看護医療大学大学院「看護医療学研究科 臨床検査学専攻 修士課程(仮称)」
社会的ニーズ、採用意向

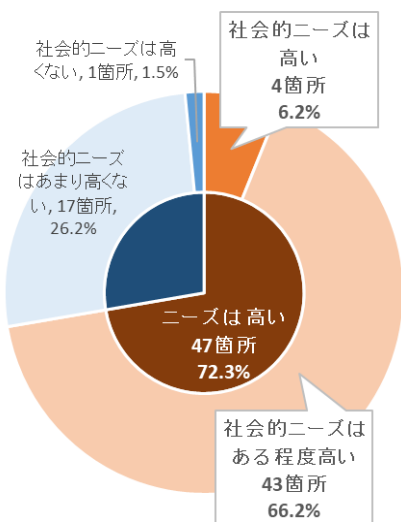
Point 2 四日市看護医療大学大学院「看護医療学研究科 臨床検査学専攻 修士課程(仮称)」が養成する人材の社会的ニーズについて、7割超の47箇所(72.3%)が認める結果。

Point 3 四日市看護医療大学大学院「看護医療学研究科 臨床検査学専攻 修士課程(仮称)」が養成する人材について、11箇所が採用意向を示し、採用可能人数は修了見込人数5名を大きく上回る15人。

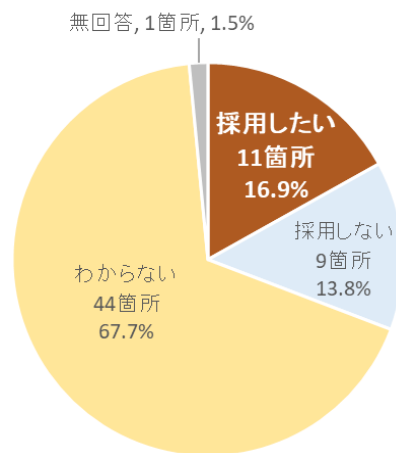
四日市看護医療大学大学院「看護医療学研究科 臨床検査学専攻 修士課程(仮称)」の概要を示した上で、養成する人材の社会的ニーズ、各回答元における採用意向について回答を求めた。

社会的ニーズについては「社会的ニーズは高い」4箇所(6.2%)、「社会的ニーズはある程度高い」43箇所(66.2%)で、合計すると7割超の47箇所(72.3%)が本専攻の社会的ニーズは高いとの認識を示した(グラフ5)。また、採用意向については「採用したい」11箇所(16.9%)で(グラフ6)、その上で提示された採用可能人数は、修了見込人数(入学定員)5名を大きく上回る合計15人であった(グラフ7)。

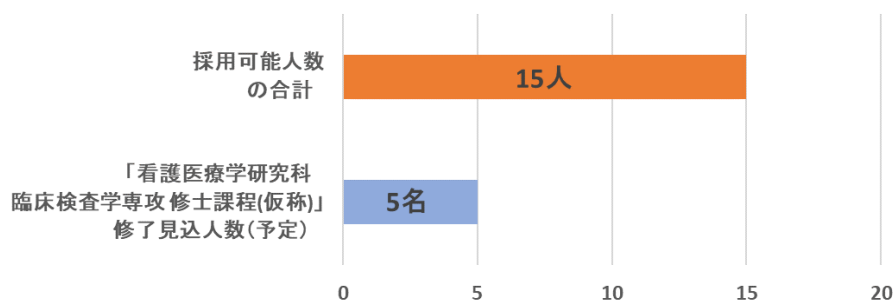
グラフ5: 「看護医療学研究科 臨床検査学専攻 修士課程(仮称)」社会的ニーズについて (問4結果より)



グラフ6: 「看護医療学研究科 臨床検査学専攻 修士課程(仮称)」養成人材の採用意向 (問5結果より)



グラフ7: 「看護医療学研究科 臨床検査学専攻 修士課程(仮称)」養成人材の採用可能人数 (問6結果より)



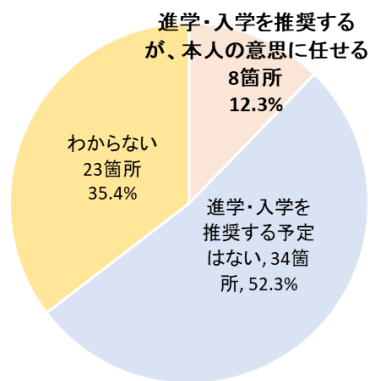
③四日市看護医療大学大学院「看護医療学研究科 臨床検査学専攻 修士課程(仮称)」への進学推奨意向

Point 4

回答元65箇所のうち8箇所が勤務する人材について、四日市看護医療大学大学院「看護医療学研究科 臨床検査学専攻 修士課程(仮称)」へ進学推奨の意向を示す。

回答元で勤務する人材に対し、四日市看護医療大学大学院「看護医療学研究科 臨床検査学専攻 修士課程(仮称)」への進学推奨の意向について回答を求めた。結果、「研修制度(就学助成金)・休職制度などを利用させ、進学・入学させたい」「現職のまま進学・入学させたい」とした回答はなかったものの、8箇所(12.3%)が「進学・入学を推奨するが、本人の意志に任せる」と回答した。

グラフ8: 勤務する人材を「看護医療学研究科 修士課程 臨床検査学専攻(仮称)」で学ばせる意向 (問7結果より)



(添付資料)



四日市看護医療大学大学院
「看護医療学研究科 修士課程 臨床検査学専攻(仮称・設置構想中)」

採用意向についてのアンケート調査
(対象：人事採用担当者様)

【記入例】  

- ・上の記入例を参考に、黒鉛筆またはシャープペンでご回答ください。
- ・誤って記入した回答は消しゴムでしっかりと消してください。

問1 貴機関・貴施設・貴社の所在地をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

- 三重県 愛知県 岐阜県 静岡県 滋賀県 和歌山県 その他

問2 貴機関・貴施設・貴社の種別をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

- 病院 健診センター 臨床検査センター 地方自治体
 医療機器メーカー 製薬会社 その他

問3 貴機関・貴施設・貴社に、大学院修士課程(博士前期課程)修了の臨床検査技師はおられますか。(勤務されている場合、ご支障なければ勤務される人数を□に記載いただければ幸いです)

- 勤務している 勤務していない わからない

問4 以降は別紙・四日市看護医療大学大学院「看護医療学研究科 修士課程 臨床検査学専攻(仮称)」概要をご覧の上、お答えください。

問4 四日市看護医療大学が設置構想中の大学院「看護医療学研究科 修士課程 臨床検査学専攻(仮称)」は社会的ニーズが高いと思われますか。(あてはまるもの1つにマーク)

- 社会的ニーズは高い 社会的ニーズはある程度高い 社会的ニーズはあまり高くない 社会的ニーズは高くない

問5 四日市看護医療大学が設置構想中の大学院「看護医療学研究科 修士課程 臨床検査学専攻(仮称)」が養成する人材を採用したいと思われませんか。(あてはまるもの1つにマーク)

- 採用したい ⇒ 問6・問7・問8にお答えください。
 採用しない ⇒ 問7・問8にお答えください。
 わからない ⇒ 問7・問8にお答えください。





問6 【問6は問5で「採用したい」と回答いただいた場合にお答えください】四日市看護医療大学が設置構想中の大学院「看護医療学研究科 修士課程 臨床検査学専攻(仮称)」が養成する人材について、採用可能と思われる人数をお答えください。(それぞれあてはまるもの1つにマーク)

- 1名 2名 3名 4名 5名以上

問7 貴機関・貴施設・貴社で勤務されている臨床検査技師や研究職に従事する方を四日市看護医療大学大学院「看護医療学研究科 修士課程 臨床検査学専攻(仮称)」に進学・入学させるご意向についてお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

- 研修制度(就学助成金)・休職制度などを利用させ、進学・入学させたい
 現職のまま進学・入学させたい
 進学・入学を推奨するが、本人の意思に任せる
 進学・入学を推奨する予定はない
 わからない

問8 四日市看護医療大学が設置構想中の大学院「看護医療学研究科 修士課程 臨床検査学専攻(仮称)」について期待される点、ご要望等がありましたら、ご自由にご記入ください。

質問は以上となります。ご協力をいただき、ありがとうございました。



四日市看護医療大学大学院

看護医療学研究科
修士課程

臨床検査学専攻(仮称)

設置構想中

生命の尊厳と深い人間理解に基づいた臨床検査実践能力を培い、
医療科学分野でリーダーシップを担う高度専門職業人ならびに高度な専門知識を備えた教育・研究者を養成

専攻の概要

開設時期： 2024年4月(予定)
 開設場所： 四日市看護医療大学(三重県四日市市萱生町1200)
 修業年限： 2年
 入学定員： 5名(収容定員：10名)
 取得学位： 修士(臨床検査学)
 養成する人材： 四日市看護医療大学大学院「看護医療学研究科 修士課程 臨床検査学専攻(仮称)」は、以下の能力・資質を兼ね備えた人材を養成します。

1. 広い視野と柔軟な思考力・想像力を持ち、臨床検査学の開拓と進展に貢献できる臨床検査学教育・研究能力を有する人材
2. 進行する少子・高齢社会に対応して、保健・医療・福祉システムを創造的に構築できる企画・調整・統括的能力を有する人材
3. 急激に変化する経済・社会の動向に対応し、活力ある地域社会創造のためにリーダーシップを発揮でき、対象者のみならず家族や地域の健康促進に貢献できる人材
4. 人々の生活改善に直結する質の高い看護医療を提供するために、高邁な倫理観を持ち、高度な専門知識・技術を有する臨床検査学実践者となる人材
5. 産業構造の急激な変化に伴い、社会的に必要性が高まっている臨床検査学の専門的知識を有する人材

初年次納付金： 入学金20万円、授業料75万円、教育充実費15万円(計110万円)(予定)

専攻の特色

2つの分野 = アプローチから臨床検査学を牽引する研究者・教育者を育成

病因解析検査学分野

病態の解析を生体物質から探る領域とし、感染防御を視野に入れた感染症起因菌の取扱い、最新の検査法について探求します。微生物検査学、生体の代謝に関連する生化学検査等を中心とする病因を解析するための検査法・分析技術・解析法について学修します。

病態機能検査学分野

病態の解析を生体機能から探る領域とし、生理機能および生体防御機能として主に血液・免疫機能を探求します。循環器、呼吸器、神経系等の生理機能検査や血液、免疫系の血液病態検査に基づく病態の検査法・解析法について学修します。

本研究科併設の看護学専攻と連携し、他分野研究者との協働が可能

臨床検査学専攻(仮称)を設置する看護医療学研究科(仮称・本専攻設置時に看護学研究科から名称変更予定)においては看護学専攻が既存にあり、先行研究、関連研究を行う中で異分野・多職種との連携の可能性を考える上で、身近な研究者(看護学専攻)である他分野研究者との協働が可能です。看護学と臨床検査学はもちろん、臨床検査学と医学・保健学との共同研究を可能にする環境にあると言えます。

臨床検査技師として「在宅医療」に貢献するための新たな領域の研究が可能

臨床検査技師が「在宅医療」に関与する例は今後、ますます増加することが予想されています。生命を尊重する倫理観と心豊かな人間性を養い、医療コミュニケーションを基に、在宅医療における臨床検査業務の実施、拡大に向け、適切な検査法、コミュニケーションを学び、新たな研究領域を拡大することが可能となります。看護学専攻との共通科目も多く、新たな視点から「在宅医療」を学ぶことができます。

疾患早期発見に向けた「新規臨床検査法の開発」に向けた発展的な研究が可能

「病態機能検査学分野」「病因解析検査学分野」の各々のアプローチより、疾患早期発見に向けた「新規臨床検査法の開発」に向けた研究が可能です。疾患プロテオミクス手法を基にした新規疾患バイオマーカーの探索、在宅医療にも関係する新たなストレスマーカーの探索など、次世代医療の発展に寄与する研究を遂行できます。

修了後の進路

四日市看護医療大学大学院の「看護医療学研究科 臨床検査学専攻(仮称)」を修了後は、以下の方面での活躍が期待されます。

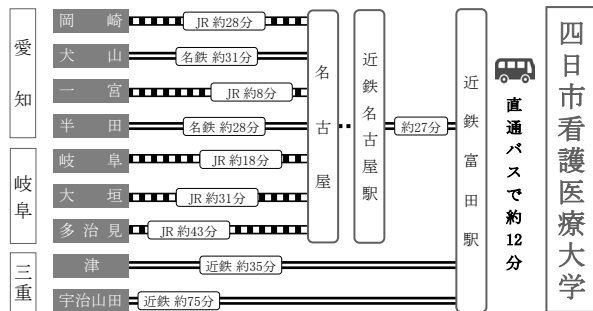
- 1 大学など教育機関の教員
- 2 病院や保健所など保健・医療機関での指導的役割
- 3 製薬会社、医療機器会社などでの研究職
- 4 大学院博士課程への進学

参考

中部地方で同様の分野・コース等を設ける大学院

名古屋大学大学院医学系研究科総合保健学専攻医療技術学コース、藤田医科大学保健学研究科保健学専攻臨床検査学領域、鈴鹿医療科学大学大学院医療科学研究科医療科学専攻臨床検査学分野、岐阜医療科学大学大学院保健医療学研究科保健医療学専攻

アクセス



学生専用駐車場(収容台数約400台)があり自動車での通学も可能です(申請要)。

一学生確保(資料) 44

四日市看護医療大学大学院
「看護医療学研究科 修士課程 臨床検査学専
攻(仮称・設置構想中)」

採用意向についてのアンケート調査

(対象：人事採用担当者様)

1ページ目 (全3ページ)

問1 貴機関・貴施設・貴社の所在地をお答えください。 **必須**

<input type="radio"/> 三重県	<input type="radio"/> 愛知県
<input type="radio"/> 岐阜県	<input type="radio"/> 静岡県
<input type="radio"/> 滋賀県	<input type="radio"/> 和歌山県
<input type="radio"/> その他	

問2 貴機関・貴施設・貴社の種別をお答えください。 **必須**

<input type="radio"/> 病院	<input type="radio"/> 健診センター
<input type="radio"/> 臨床検査センター	<input type="radio"/> 地方自治体
<input type="radio"/> 医療機器メーカー	<input type="radio"/> 製薬会社
<input type="radio"/> その他	

問3 貴機関・貴施設・貴社に、大学院修士課程(博士前期課程)修了の臨床検査技師はおられますか。 **必須**

(勤務されている場合、ご支援なければ勤務される人数をお教えてください。)

<input type="radio"/> 勤務している	<input type="radio"/> 勤務していない
<input type="radio"/> わからない	

次へ

問3にて「勤務している」を選択の場合、人数入力欄が表示。

問3 貴機関・貴施設・貴社に、大学院修士課程(博士前期課程)修了の臨床検査技師はおられますか。 **必須**

(勤務されている場合、ご支障なければ勤務される人数をお教えてください。)

<input checked="" type="radio"/> 勤務している	<input type="radio"/> 勤務していない
<input type="radio"/> わからない	

勤務されている人数をご記入ください。 **任意**

<input type="text"/>	名
----------------------	---

次へ

問4・問5・問6(問6は問5で「採用したい」を選択した場合のみ表示)

3ページ目 (全3ページ)

問4 四日市看護医療大学が設置構想中の大学院「看護医療学研究科 修士課程 臨床検査学専攻(仮称)」は社会的ニーズが高いと思われますか。 **必須**

- 社会的ニーズは高い
- 社会的ニーズはある程度高い
- 社会的ニーズはあまり高くない
- 社会的ニーズは高くない

問5 四日市看護医療大学が設置構想中の大学院「看護医療学研究科 修士課程 臨床検査学専攻(仮称)」が養成する人材を採用したいと思われますか。

必須

- 採用したい
- 採用しない
- わからない

問6 【問6は問5で「採用したい」と回答いただいた場合にお答えください】四日市看護医療大学が設置構想中の大学院「看護医療学研究科 修士課程 臨床検査学専攻(仮称)」が養成する人材について、採用可能と思われる人数をお答えください。 **必須**

- 1名
- 2名
- 3名
- 4名
- 5名以上

問7・問8

問7 貴機関・貴施設・貴社で勤務されている臨床検査技師や研究職に従事する方を四日市看護医療大学大学院「看護医療学研究科 修士課程 臨床検査学専攻(仮称)」に進学・入学させるご意向についてお答えください。 **必須**

- 研修制度（就学助成金）・休職制度などを利用させ、進学・入学させたい
- 現職のまま進学・入学させたい
- 進学・入学を推奨するが、本人の意思に任せる
- 進学・入学を推奨する予定はない
- わからない

問8 四日市看護医療大学が設置構想中の大学院「看護医療学研究科 修士課程 臨床検査学専攻(仮称)」について期待される点、ご要望等がありましたら、ご自由にご記入ください。 **任意**

質問は以上となります。ご協力をいただき、ありがとうございました。

送信

戻る